

令和3年版

# 消 防 年 報



新見市マスコットキャラクター **にーみん**

新見市消防本部  
(令和4年刊行)

# 総 説

# 総 説

## 1 市 勢

新見市は、岡山県の北西に位置し、西は広島県庄原市、北は鳥取県日野郡と県境を接する人口27,520人、面積793.29km<sup>2</sup>の中山間都市です。市域のほぼ中央に位置する市街地は企業や官公庁、商業施設が集中する市の中核で、中国縦貫自動車道や国道・県道及びJR在来線が東西・南北を貫く交通の要衝となっています。周辺地域は、広大な市の面積のほとんどを占める山林や農地で形成され、農産物等の生産や埋蔵量豊富な石灰岩の産出により、市の主な産業である農林業、畜産業、鉱業を支えており、それぞれが経済的・社会的にその機能と役割を果たしてきています。

また、公立の『新見女子短期大学』として開学し、現在男女共学の4年制大学に改組された『新見公立大学』は、今後学生数の増加が見込まれ、保育・看護・福祉の専門人材を養成する機関として発展が期待されます。市では大学を応援する機運を醸成するとともに、大学が設置されている利点を活かし、大学と連携して市の活性化や課題解決に向けた「大学を活かしたまちづくり」を行っています。

このようなことから、将来の都市像を「人と地域が輝き 未来につながる 源流共生のまち・にいみ」として、地域資源の活用、多様な主体との連携と協働、地域共生社会の構築による「個性と魅力あるまちの創造」「持続可能なまちの創造」に取り組んでいます。

当消防本部は、新見市消防本部として昭和43年4月に発足し、昭和47年に隣接する1市4町で消防の広域化が図られ新見地区消防本部となり、さらに、平成17年3月31日にこの構成市町の自治体が合併し、新見市消防本部と改名されて現在に至っており、1本部1署4分署、職員84人の体制で消防団員1,031人とともに市民の安心・安全のために災害対応・防災に従事しております。

## 2 新見市消防本部の沿革

昭和	43.	4	政令指定により、新見市に消防本部・消防署が設置され、消防長以下22名水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台で発足した。
	43.	12	消防庁舎完成、鉄筋コンクリート造り3階建、517.85㎡
	44.	3	日本損害保険協会寄贈による消防ポンプ自動車（トヨタランドクルーザーA1）が納入された。
	44.	4	連絡広報車（ニッサンセドリック）購入
	44.	12	職員1名死亡退職、職員数21名となる。
	45.	3	救急自動車（トヨタクラウン・2B）1台購入
	45.	4	救急業務開始、職員6名を採用、職員数27名となる。
	47.	4	新見市周辺の阿哲郡4町（大佐町、神郷町、哲多町、哲西町）が常備消防設置の政令指定を受け、同時に、県知事から阿新広域事務組合規約の変更が許可され、組合の事務に消防業務が加えられた。
	47.	5	組織の変更により、従来の新見市消防本部・署の職員23名、消防ポンプ2台、無線施設等組合へ移行、新見市からの派遣職員4名と併せて職員27名で組合消防発足、当面周辺4町は予防業務のみ実施する。
	47.	6	派遣職員（新見市）1名増員、実員28名となる。 広報車（いすゞライトバン1,600cc）購入
	47.	7	5日間にわたる豪雨で管内各地に河川氾濫、土砂崩れ等の被害が続出、連日連夜、職員の水防活動が行われた。昭和47年7月豪雨と名付けられた。
	47.	8	分駐所配置の小型動力ポンプ（トーハツV15AC1級）4台購入
	47.	12	分駐所配置の消防ポンプ自動車（ニッサンFH60 3,950cc 日機R3F）4台購入
	48.	4	職員30名採用、実員58名となる。（定員58名） 政令発効により、管内全域の消防業務を開始 刑部分駐所（大佐町）、新郷分駐所（神郷町）、萬歳分駐所（哲多町）、矢神分駐所（哲西町）の4分駐所を仮庁舎で開設、職員各7名を配す。
	48.	6	分駐所庁舎完成、鉄骨ブロック平屋建て146㎡ 4カ所
	48.	10	職員1名退職、実員57名となる。
	48.	11	管内全域をエリアとする無線施設完成、運用に入る。（NEC） 周波数152.09MHz、150.33MHz 固定局 7局（基地局 5局）、移動局 22局
	48.	12	日本船舶振興会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。新見消防署に配置した。

49.	3	定数条例を改正、消防職員の定数を「64名」とした。
49.	4	職員3名採用、実員60名となる。
49.	6	職員3名採用、実員63名となる。
49.	9	日本船舶振興会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入され、刑部分駐所に配置した。職員1名退職、実員62名となる。
50.	1	無線機（NEC）2台増設、救急自動車に搭載する。移動局24局となる。
50.	3	日本損害保険協会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。新郷分駐所に配置した。
50.	4	無線機（NEC）1台増設、救急自動車に搭載する。移動局25局となる。
51.	3	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。 萬歳分駐所に配置した。
51.	4	職員2名採用、実員64名となる。 日本損害保険協会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。矢神分駐所に配置した。
51.	5	無線機（NEC）2台増設、救急自動車に搭載する。移動局27局となる。
51.	6	派遣職員1名減員、実員63名となる。
51.	12	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型、日野KL501 6,210cc 日機R3）購入 新見消防署に配置し、老朽したタンク車を除却処分した。 無線機（NEC）1台増設、化学消防ポンプ自動車に搭載する。移動局28局となる。
52.	12	指揮連絡車（スズキジムニー55バン）2台購入、新郷、矢神分駐所に配置した。
53.	3	仮眠室増築工事完成
53.	7	専任消防長任命（新見市助役の事務取扱を廃止、消防署長が昇格）
53.	10	中国自動車道北房～東城間救急業務の引受け、併せて真庭消防本部、三次地区消防本部との間に消防相互応援協定を締結した。 定数条例を改正、消防職員の定数を「69名」とした。
53.	11	指揮連絡車（スズキジムニー55バン）2台購入、刑部、萬歳分駐所に配置した。
53.	12	救急指令装置（NEC B型）を配置、緊急電話12回線、一般加入電話4回線等と消防無線を収容
54.	1	救急自動車（ニッサンキャラバン2,000cc 2B）購入、中国自動車道救急業務に備えて新見消防署に配置した。

54.	3	指令査察車（ニッサンセドリックバン2,000cc）購入、新見消防署に配置し、老朽した広報車を処分した。 無線機（NEC）5台増設、救急自動車、指令査察車及び指揮連絡車3台に搭載、移動局33局となる。職員1名死亡退職、実員62名となる。
54.	4	職員5名採用、実員67名となる。
54.	5	職員1名補充採用、実員68名となる。
54.	7	職員1名病気退職、実員67名となる。
55.	4	職員2名採用、実員69名となる。
55.	7	全職員を消防庁告示による救急隊員の有資格者とするため、消防大学救急科
~56.	3	へ職員2名を派遣、部内講師として、署所ごとに72時間の補充講習を実施した。
56.	4	管理者制から理事会制に改正 消防本部に6係を設ける等機構の改善、整備を行った。
57.	2	岡山県共済農業共同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。新見消防署に配置した。
57.	4	消防庁舎（本部・署）用地・建物取得、敷地 2,082㎡ 建物 鉄筋コンクリート造り2階建延べ385.20㎡
57.	6	消防庁舎（本部・署）新築・改造工事着工
57.	9	日本損害保険協会寄贈による消防ポンプ自動車（ニッサンJ-FG160 3.6KWA1級）火災保険号「阿新」が納入される。新見消防署に配置した。 消防庁舎（本部・署）新築・改造工事竣工 消防署新築、鉄骨造り平屋建て420.07㎡ 既存棟改造
57.	10	新消防庁舎へ移転、業務を開始（所在地 新見市新見312番地の2）
58.	6	事務機構の一部改正により、消防本部に庶務課と警防課の2課（6係）を設けた。
58.	11	日本防火協会寄贈による防火広報車（ニッサンキャラバン）1台納入される。
59.	3	消防訓練塔完成
60.	7	災害の多様化、広域化に備え隣接消防本部（鳥取県西部広域行政管理組合、真庭消防組合及び高梁市）との消防、救急に関する相互応援協定を締結した。
60.	11	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、新見消防署に配置老朽車両1台を廃車した。
61.	2	日本損害保険協会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。

		刑部分駐所に配置、老朽車両を更新した。
61.	3	新見消防署にシャワー室併設の車庫79.18㎡を新築した。 職員1名退職、実員68名となる。
61.	9	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、新郷分駐所の車両を更新した。
61.	10	職員1名採用、実員69名となる。
61.	12	消防本部通信指令室に無線第二基地局（全国、県内共通波）を設置した。
62.	1	新見市から、小型動力ポンプ積載車（ニッサン44年式）の移管を受ける。
62.	4	新見市からの派遣職員1名減員、実員68名となる。
62.	7	中国自動車道下り線213KP、新見市上熊谷地区で大型タンクローリーが横転し、積荷の毒物（フッ化水素酸）が流出、付近の住民避難や農作物、花木の枯渇、河川汚染等多大の被害があり、その防除活動に従事した。
62.	9	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、矢神分駐所の車両を更新した。
62.	11	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。萬歳分駐所の車両を更新した。
62.	12	中国自動車道における、消防、救急に関する相互応援について岡山県内の関係4本部（英田、津山、真庭、新見）で協定を締結した。
63.	3	職員1名退職、実員67名となる。
63.	4	職員1名採用、実員68名となる。 新見大火50年、自治体消防発足40周年を記念して、新見市消防大会が開催され、記念式典及び消防演習に消防本部も参加した。
63.	6	第1回岡山県消防救助技術訓練大会が岡山市で開催され、ほふく救出の部とはしご登はんの部に出場、それぞれ優勝、入賞の好成績を収めた。
63.	12	救助工作車（Ⅱ型）1台、無線電話機1台及び救助用資機材を購入、新見消防署の救助体制を強化した。 消防ポンプ自動車（BD-1）1台を購入、刑部分駐所の車両を更新した。
64.	1	天皇陛下崩御、元号が「平成」に改められた。（1月8日） 平成元. 1 自治省消防庁「救急基金」の寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、新郷分駐所の車両を更新した。
平成元.	3	職員1名退職、実員67名となる。
元.	4	職員1名採用、実員68名となる。
元.	7	消防指令車（スバルレガシーワゴン1,800cc）購入、新見消防署の車両を更新した。

元. 10	新見信用金庫から同金庫創立40周年記念事業の一環として、救急自動車（ニッサンキャラバン2B、4WD無線電話付）1台が寄贈、納入され新見消防署へ配置した。
元. 11	消防ポンプ自動車（BD-1）1台を購入、萬歳分駐所の車両を更新した。
元. 12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B、4WD）1台が岡山県から配分され、矢神分駐所の車両を更新した。
2. 3	大規模、広域化する災害に対応するため、岡山県全域にわたる消防相互応援協定が締結された。（4月1日運用開始）
2. 10	職員1名病気退職、実員67名となる。
3. 1	日本損害保険協会寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B）1台が納入され、新見消防署の車両を更新した。
3. 4	職員1名採用、実員68名となる。
3. 8	日本船舶振興会（日本消防協会）寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B）1台が納入され、新見消防署の車両を更新した。
3. 9	定数条例を改正、消防職員の定数を「70名」とした。
4. 1	職員1名死亡退職、実員67名となる。
4. 3	定数条例を改正、消防職員の定数を「72名」とした。 消防無線施設（固定局、基地局、空中線）を更新、一部伝播状況を改善するため神郷町釜村に中継局を設置した。
4. 4	職員2名採用、実員69名となる。
4. 9	日本損害保険協会寄贈の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンU-CM87EE、日本ドライケミカルA-1級）1台が納入され、新見消防署へ配置した。
4. 12	消防連絡車（三菱V-U42V）2台を購入、新郷、矢神分駐所の車両を更新した。
5. 3	定数条例を改正、消防職員の定数を「82名」とした。
5. 4	職員3名採用、実員72名となる。
5. 6	各分駐所に電話転送装置を設置、消防本部でも対応可能となった。
5. 8	消防連絡車（三菱V-U42V）2台を購入、刑部、萬歳両分駐所の車両を更新した。
5. 9	新見ロータリークラブ創立20周年記念事業として、軽四輪ライトバン（スズキV-DF51V）1台の寄贈を受け、新見消防署に配置した。
5. 11	消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
6. 1	消防通信指令施設の更新を行い同時に気象観測装置と災害情報自動案内装置を新規導入して運用を開始した。

6.	3	岡山県事業による防災行政通信ネットワークの衛星系工事が完成、一部消防本部、市町村等と衛星を使った各種通信が可能となった。
6.	4	職員7名を採用し、派遣職員1名を減員、実員78名となる。 事務機構の一部改正により消防本部が総務課、予防課、警防課の3課となり、消防署に新たに救急救助係を設けた。 分駐所の名称を大佐分署、神郷分署、哲多分署、哲西分署に改めた。
7.	4	職員5名採用、実員83名となる。
7.	5	職員1名退職、実員82名となる。
7.	12	岡山県共済農業共同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、大佐分署の車両を更新した。
8.	4	派遣職員1名増員、実員83名となる。
8.	5	職員1名退職、実員82名となる。
8.	6	備北地区消防行政組合と中国自動車道における消防相互応援協定を締結した。
8.	9	職員1名退職、実員81名となる。
8.	12	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型、日野GDIJGB7, 960cc日機R3）を購入、新見消防署の車両を更新した。
9.	3	職員1名死亡退職、実員80名となる。 大佐分署新築（敷地1, 280. 69㎡、建物面積270. 06㎡）
9.	4	新見市消防団に関する事務を新見市へ移管、実員79名となる。 職員1名採用、実員80名となる。 消防職員と新見市職員の相互交流に関する協定書を締結した。
9.	9	職員1名採用、実員81名となる。
9.	12	消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、神郷分署の車両を更新した。
10.	5	職員1名退職、実員80名となる。
10.	9	職員1名採用、実員81名となる。
10.	11	移動体の119番通報の受信を開始する。
10.	12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、哲多分署の車両を更新した。
11.	3	通信指令室（27. 565㎡）を増築 消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
11.	8	救急自動車（ニッサン2B）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
12.	9	救急自動車（ニッサン2B）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。既存車（H11. 8購入分）を神郷分署に移管した。

12.	12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、哲西分署の車両を更新した。
13.	7	高規格救急自動車（ニッサンGE-FLW50）1台を購入、新見消防署へ配置した。新見消防署に配置していた救急車（ニッサン2B）を廃車した。
13.	9	高規格運用に伴う医師の指示に関する協定書及び大規模救急事故等救急業務実施要綱に関する協定書並びにタクシー協会備北支部との覚書を締結した。
14.	3	職員2名退職、実員79名となる。 神郷分署新築（敷地1,274.31㎡、建物面積267.52㎡）
14.	4	職員2名を採用、実員81名となる。
14.	7	消防指令車（ニッサンエクストレイル）購入、新見消防署の車両を更新した。
15.	2	哲西分署新築（敷地1,281.29㎡、建物面積268.25㎡）
16.	3	哲多分署新築（敷地816.95㎡、建物面積268.00㎡） 職員3名退職、実員78名となる。
16.	4	職員2名採用、実員80名となる。
17.	3	新見市と阿哲郡4町（大佐町、神郷町、哲多町、哲西町）が行政合併し、「新見市」となる。阿新広域事務組合は解散し、新見地区消防本部は名称を「新見市消防本部」とし、新見消防署は「新見市消防署」とする。
17.	4	消防本部に「消防団係」を設ける。 定数条例を改正、消防職員の定数を「81名」とした。 新見市から1名出向、実員81名となる。
17.	7	職員1名死亡退職、実員80名となる。
18.	3	職員3名退職、実員77名となる。
18.	4	職員2名採用、実員79名となる。 職員1名退職、実員78名となる。
18.	9	職員2名採用、実員80名となる。
18.	11	高規格救急自動車（ニッサンTC-FPWGE50）購入、新見市消防署の車両を更新した。
19.	3	職員1名退職、実員79名となる。
19.	4	定数条例を改正、消防職員の定数を「85名」とした。 新見市から1名出向、新見市に2名帰任、実員78名となる。
19.	7	職員1名採用、実員79名となる。
20.	2	消防ポンプ車（CD-1）1台を購入、新見市消防署の車両更新。 日本消防協会寄贈による消防団活動車（ダイハツ軽四）1台が納入された。

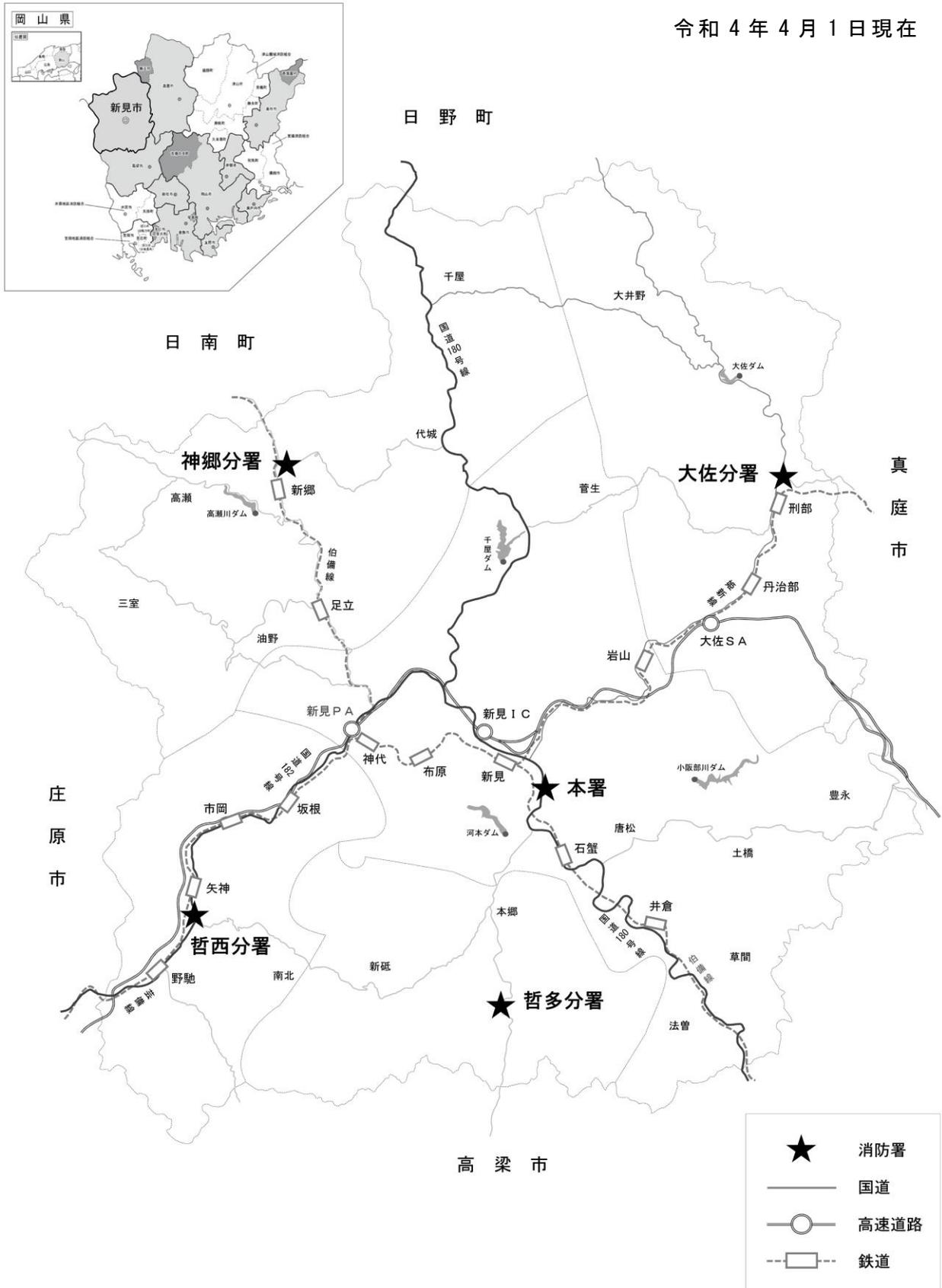
20.	3	職員 4 名退職、実員 75 名となる。
20.	4	職員 5 名採用、実員 80 名となる。
20.	5	職員 1 名死亡退職、実員 79 名となる。
21.	3	職員 5 名退職、実員 74 名となる。
21.	4	職員 8 名（うち 1 名女性）採用、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 81 名となる。
21.	8	日本宝くじ協会寄贈による消火・通報訓練指導車（マツダ タイタン）が 1 台納入された。
21.	11	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。
22.	1	消防ポンプ自動車（CD-1）購入。哲多分署の車両を更新した。
22.	3	高機能消防指令センター（消防緊急通信指令台）を導入
22.	3	職員 8 名退職、実員 73 名となる。
22.	4	職員 5 名（うち 1 名女性）採用、新見市から 1 名出向、実員 79 名となる。
22.	4	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両（いすゞ レッドシーガル）を 1 台借り受けた。
22.	6	救助工作車（Ⅱ型）を購入、新見市消防署の車両を更新した。
22.	7	職員 1 名退職、実員 78 名となる。
22.	8	全国共済農業協同組合連合会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、新見市消防署の車両を更新した。
23.	3	職員 4 名退職、実員 74 名となる。
23.	4	職員 6 名（うち 1 名女性）採用、新見市へ 1 名出向、新見市から 1 名出向、実員 80 名となる。
23.	12	日本損害保険協会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、新見市消防署の車両を更新した。
23.	12	女性職員、仮眠室増築工事完成
23.	12	職員 1 名退職、実員 79 名となる。
24.	1	女性職員、隔日勤務開始
24.	3	職員 3 名退職、実員 76 名となる。
24.	4	職員 4 名採用、新見市から 1 名帰任、実員 81 名となる。
24.	12	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を購入、新見市消防署の車両を更新した。
25.	2	消防救急デジタル無線実施設計完了
25.	3	非常用発電機を新見市消防本部・新見市消防署の庁舎屋上に設置した。
25.	3	職員 1 名退職、実員 80 名となる。

25.	4	職員 2 名採用、新見市へ 1 名帰任、岡山県消防防災航空センターから 1 名帰任、実員 82 名となる。
25.	6	消防救急無線デジタル化整備工事契約
25.	10	消防救急無線デジタル化整備工事着手
26.	3	職員 7 名退職、実員 75 名となる。
26.	4	職員 7 名採用、新見市へ 1 名出向、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
26.	11	消防救急無線デジタル運用開始
26.	12	日本損害保険協会寄贈による小型動力ポンプ付軽消防自動車が納入され、新見市消防団の車両を更新した。
27.	2	総務省消防庁から救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 1 台を新見市消防団に借り受けた。
27.	3	職員 7 名退職、実員 75 名となる。
27.	4	職員 6 名採用、新見市から 1 名帰任、新見市へ 2 名出向、新見市から 2 名出向、実員 82 名となる。
27.	12	救急自動車（2B 型）購入、神郷分署の車両を更新した。
28.	3	職員 6 名退職、実員 76 名となる。
28.	4	職員 4 名採用、新見市に 1 名帰任、新見市から 2 名出向、実員 81 名となる。
29.	1	職員 1 名退職、実員 80 名となる。
29.	2	職員 1 名退職、実員 79 名となる。
29.	3	職員 5 名退職、実員 74 名となる。
29.	4	職員 6 名採用、新見市から 2 名帰任、新見市に 1 名帰任、新見市から 3 名出向、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 83 名となる。
29.	8	消防連絡車（スズキ エブリイ）を購入、哲西分署の車両を更新した。
29.	12	日本損害保険協会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、哲多分署の車両を更新した。
30.	3	職員 4 名退職、実員 79 名となる。
30.	4	職員 3 名採用、新見市に 1 名帰任、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
31.	3	高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。
31.	4	職員 5 名退職、実員 77 名となる。 職員 6 名採用、新見市に 2 名帰任、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
令和元.	9	職員 1 名退職、実員 81 名となる。
	2.	3 消防ポンプ自動車（CD-1）購入、大佐分署の車両を更新した。 職員 1 名退職、実員 80 名となる。

- |    |   |  |
|----|---|--|
| 2. | 4 | 職員 1 名採用、1 名再任用、新見市に 1 名帰任、新見市から 1 名出向、岡山県消防防災航空センターから 1 名帰任、実員 83 名となる。           |
| 2. | 5 | 新見市石蟹の新見市防災公園内に造成中であった、消防水出し操法訓練場が完成した。  |
| 2. | 8 | 新見市消防体制基本構想検討委員会を設置し、将来に向けた持続可能な消防体制のあり方について検討を行い、令和 3 年 3 月 5 日に委員長が検討結果を市長へ報告した。 |
| 3. | 3 | 高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。<br>職員 2 名退職、実員 81 名となる。                   |
| 3. | 4 | 職員 1 名採用、2 名再任用（1 名継続）、実員 83 名となる。   |
| 3. | 6 | 職員 1 名退職、実員 82 名となる。   |
| 4. | 3 | 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）2 台購入、新見市消防署、哲西分署の車両を更新した。<br>職員 2 名退職、実員 80 名となる。            |
| 4. | 4 | 職員 3 名採用、2 名再任用（1 名継続）、新見市に 2 名帰任、新見市から 2 名出向、実員 84 名となる。                          |

### 3 管内図 (出動体系)

令和4年4月1日現在



★	消防署
—	国道
—○—	高速道路
- - □ - -	鉄道

#### 4 新見市消防本部の位置と状況

(令和4年4月1日現在)

位 置	東 経	北 緯
	133 度 28 分 25 秒	34 度 58 分 30 秒
面 積	793.29k m <sup>2</sup>	
広 範	東 西	南 北
	30.0km	35.0km
人 口	27,520 人	
世 帯 数	12,630 世帯	

#### 5 歴代消防長

歴 代	氏 名	在 任 期 間	備 考
初代	角田 忠夫	S43. 4. 1 ~ S44. 7. 18	新見市助役
2	赤木 孜一	S44. 7. 19 ~ S44. 10. 31	市長 代行
3	森宗 哲男	S44. 11. 1 ~ S52. 9. 30	新見市助役
4	渡邊 滋樹	S52. 10. 1 ~ S53. 6. 30	新見市助役
5	古屋 弘	S53. 7. 1 ~ S56. 5. 31	
6	竹本 博	S56. 6. 1 ~ S57. 5. 31	
7	生田 和男	S57. 6. 1 ~ S59. 3. 31	
8	城谷 廣	S59. 4. 1 ~ S60. 3. 31	
9	山本 靖弘	S60. 4. 1 ~ S62. 3. 31	
10	森下 博	S62. 4. 1 ~ H元. 3. 31	
11	小林 薫	H元. 4. 1 ~ H 4. 3. 31	

12	池田 稔	H 4. 4. 1 ~ H 6. 3. 31	
13	小寺 令治	H 6. 4. 1 ~ H 8. 3. 31	
14	小林 玄造	H 8. 4. 1 ~ H10. 3. 31	
15	池上 弘幸	H10. 4. 1 ~ H13. 3. 31	
16	赤井 忠義	H13. 4. 1 ~ H14. 3. 31	
17	西村 武夫	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	
18	赤井 潔志	H15. 4. 1 ~ H17. 3. 30	
19	清水 博	H17. 3. 31 ~ H19. 3. 31	
20	高下 瀧昇	H19. 4. 1 ~ H22. 3. 31	
21	大本 正治	H22. 4. 1 ~ H23. 3. 31	
22	小川 節雄	H23. 4. 1 ~ H25. 3. 31	
23	西村 定	H25. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
24	前原 幸治	H27. 4. 1 ~ H28. 3. 31	
25	吉田 裕明	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	
26	安松 潔	H29. 4. 1 ~ H31. 3. 31	
27	名越 淑郎	H31. 4. 1 ~ R 2. 3. 31	
28	貞岡 富佐雄	R2. 4. 1 ~ R 3. 3. 31	
29	山本 明	R3. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	

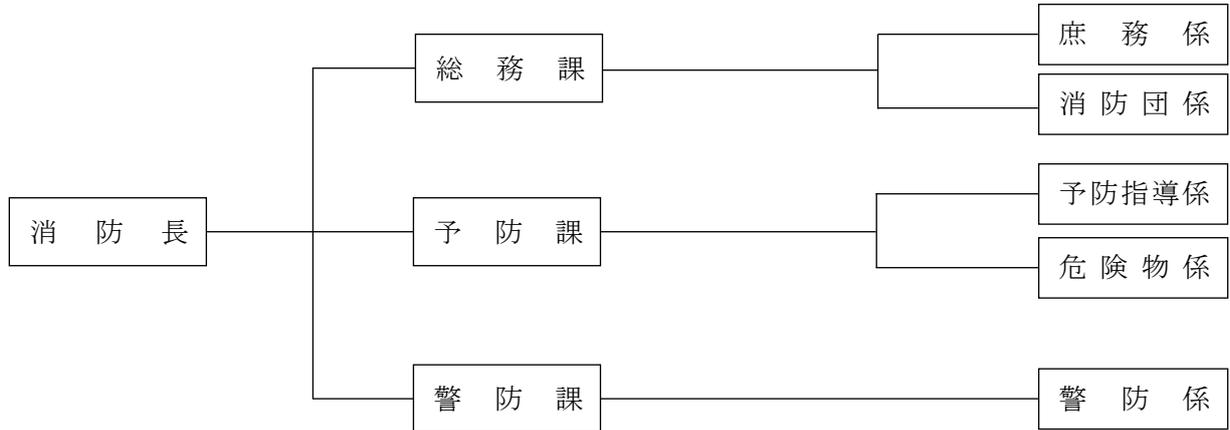
# 総務

# 総務

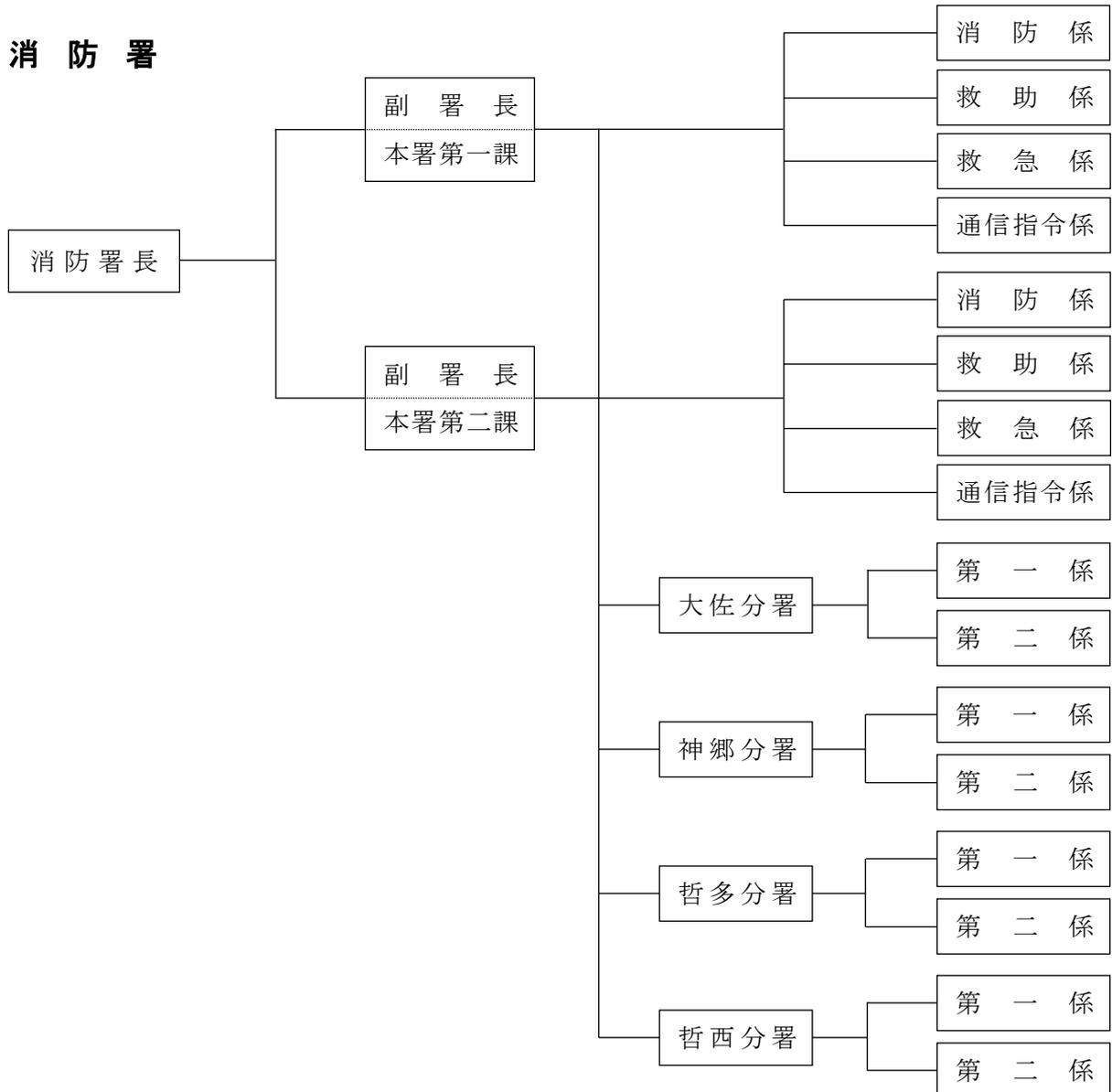
## 1 新見市消防本部・消防署組織図

(令和4年4月1日現在)

### 消防本部



### 消防署



## 2 消防本部の事務分掌

### 総務課

#### ○庶務係

- (1) 消防業務の総合的企画に関する事。
- (2) 条例、規則等の制定改廃に関する事。
- (3) 公印の管守に関する事。
- (4) 相互応援協定、協約、その他関係機関との連携に関する事。
- (5) 儀式及び表彰に関する事。
- (6) 公文書の收受及び整理保管に関する事。
- (7) 各課、係処理事務の調整に関する事。
- (8) 消防職員委員会に関する事。
- (9) 職員の任免、分限、懲戒及び服務、賞罰その他身分に関する事。
- (10) 職員の給与、勤務時間、その他勤務条件に関する事。
- (11) 職員の勤務成績の評定に関する事。
- (12) 職員の教養及び訓練に関する事。
- (13) 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- (14) 公務災害補償に関する事。
- (15) 職員の被服貸与に関する事。
- (16) 予算及び決算に関する事。
- (17) 収入及び支出命令に関する事。
- (18) 消防財産の管理及び処分に関する事。
- (19) 他の課、係の分掌に属しない事項に関する事。

#### ○消防団係

- (1) 消防団員の任免、服務、表彰、その他身分に関する事。
- (2) 消防団員の被服の貸与に関する事。
- (3) 消防団員の公務災害補償に関する事。
- (4) 消防団員の研修・訓練に関する事。
- (5) 消防団員の報酬等の支給に関する事。
- (6) 消防団の消防施設に関する事。
- (7) 消防団の機械器具に関する事。
- (8) 消防団の予算決算に関する事。
- (9) その他消防団に関する事。

### 予防課

#### ○予防指導係

- (1) 火災予防の指導、広報公聴、警戒、防火指導及び予防査察に関する事。
- (2) 建築物の許可又は確認の同意事務に関する事。
- (3) 防火対象物並びにその消防用設備等に関する検査、指導及び措置命令に関する事。
- (4) 防火対象物の火災原因調査に関する事。
- (5) 防火管理者、消防協力団体の指導育成に関する事。
- (6) 火災予防の関係資料収集及び統計に関する事。
- (7) その他火災予防に関する事。

## ○危険物係

- (1) 危険物製造所等、施設並びに設備の規制及び指導に関すること。
- (2) 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (3) 液化石油ガス、高圧ガスの防災対策と関連事務に関すること。
- (4) 少量危険物、指定可燃物及び劇毒物の貯蔵取扱い等の規制に関すること。
- (5) 火薬類の貯蔵、取扱い及び消費に係る防災対策等に関すること。
- (6) 危険物関係協力団体の指導育成に関すること。
- (7) 危険物関係等の統計に関すること。
- (8) 危険物等による災害の調査及び処理に関すること。

## 警 防 課

### ○警防係

- (1) 火災その他の災害の警戒、防御並びに救急、救助に関すること。
- (2) 警防業務の運用と配備計画の策定に関すること。
- (3) 消防地理並びに水利の調査と保全に関すること。
- (4) 消防技術の訓練、研究、調査及び指導に関すること。
- (5) 防災対策に関すること。
- (6) 火災の原因調査並びに損害調査に関すること。
- (7) 気象情報の収集及び火災警報に関すること。
- (8) 消防団との連携に関すること。
- (9) 他市町との相互応援活動に関すること。
- (10) 災害防御対策検討会の開催に関すること。
- (11) 火災、水防、救急、救助の統計に関すること。
- (12) 出動命令、非常召集に関すること。
- (13) 救急医療対策協議会に関すること。
- (14) 消防用車両及び通信施設その他消防装備、機械器具の管理運用並びに保守に関すること。
- (15) 消防装備の改善研究及び取扱い指導に関すること。
- (16) 消防本部所管の高圧ガス施設及び設備器具の維持管理に関すること。
- (17) 消防本部内の事故防止と交通安全に関すること。
- (18) 機関員、通信員の育成指導に関すること。
- (19) 水防資器材の確保及び管理に関すること。

## 3 消防署の事務分掌

### ○消防係

- (1) 水火災その他の災害の警戒、防御に関すること。
- (2) 消防訓練に関すること。
- (3) 消防機械器具の整備に関すること。
- (4) 協力団体の指導に関すること。
- (5) 火災の原因等調査に関すること。
- (6) 水火災その他の災害の記録と統計に関すること。
- (7) 消防地理及び水利の調査と保全に関すること。
- (8) 火災予防の指導、広報広聴、予防査察に関すること。
- (9) 危険物、指定可燃物等の指導取締に関すること。

- (10) 自主防災組織の育成指導に関すること。
- (11) その他消防及び火災予防に関すること。
- (12) 署事務のうち、他の係に属さないこと。

**○救助係**

- (1) 救助活動に関すること。
- (2) 救助資機材の整備に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) 救助の記録と統計に関すること。
- (5) その他救助に関すること。

**○救急係**

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 救急資機材の整備に関すること。
- (3) 救急訓練に関すること。
- (4) 救急法の普及指導に関すること。
- (5) 救急の記録と統計に関すること。
- (6) その他救急に関すること。

**○通信指令係**

- (1) 災害防御の指令に関すること。
- (2) 地理水利、気象、交通、電気通信等、情報収集に関すること。
- (3) 職員の非常召集に関すること。
- (4) 通信機器の維持管理に関すること。
- (5) 消防無線局等の運用に関すること。

**分署**

第一課、第二課の事務取扱に準ずる。

附 則

この訓令は、令和4年4月1日から施行する。

**4 階級別職員数**

(令和4年4月1日現在) (単位：人)

区分 \ 階級	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員
定 員	85	(階級別定数規定なし)						
実 員	84	1	15	14	23	13	16	2

再任用2名含む

5 職員定数・実員及び採用・退職状況【( )内は女性】

(単位：人)

年度別	項目	定員	実数 (4/1基準)	採用	市長部局		派遣	退職	摘要
					転入	転出			
S48		58	58	30	1			1	新見市消防本部(平成十七年三月三十一日合併) 昭和四十八年四月一日全域業務開始 昭和三十七年五月二十日発足(新見市消防本部 昭和四十三年四月一日発足) 広域消防
49		64	60	3<6月採用3>	2	2		1	
50		64	62		1	1			
51		64	64	2		1			
52		64	63						
53		69	63		2	2		1	
54		69	67	5<5月採用1>				1	
55		69	69	2					
56		69	69		3	3			
57		69	69		2	2			
58		69	69		2	2			
59		69	69		1	1			
60		69	69					1	
61		69	68	1<10月採用1>	1	1			
62		69	68		1	2		1	
63		69	68	1				1	
H元		69	68	1	2	2			
2		69	68		1	1		1	
3		70	68	1				1	
4		72	69	2	1	1			
5		82	72	3					
6		82	78	7	1	2			
7		82	83	5	1	1		1	
8		82	83		1			3	
9		82	80	1<9月採用1>	1	2			
10		82	81	<9月採用1>	1	1		1	
11		82	81						
12		82	81						
13		82	81		1	1		2	
14		82	81	2	1	1			
15		82	81		1	1		3	
16		82	80	2	2	2			
17		81	81		1			4	
18		81	79	2<9月採用2>				2	
19		85	79	1<7月採用1>	1	2		4	
20		85	80	5				6	
21		85	81(1)	8(1)			1	8	
22		85	79(2)	5(1)	1		1	5	
23		85	80(2)	6(1)	1	1(1)	1	4	
24		85	81(3)	4	1(1)		1	1	
25		85	82(3)	2		1		7	
26		85	82(3)	7	1	1		7	
27		85	82(2)	6	3	2(1)		6	
28		85	81(2)	4	2	1		7	
29		85	83(3)	6	5(1)	1	1	4	
30		85	82(3)	3	1	1	1	5	
31(R元)		85	82(2)	6	1	2	1	2	
2		85	83(2)	2<再任用1含>	1	1		2	
3		85	83(2)	3<再任用2含>					
4		85	84(2)	5<再任用2含>	2	2		2	

6 職員の配置状況

(令和4年4月1日現在) (単位：人)

階級		計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員
区 分									
定 員		85							
実 員		84	1	15	14	23	13	16	2
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	総 務	6		2		2			2
		(2)				(2)			
	予 防	5		2	1	2			
		(2)				(2)			
	警 防	3		2	1				
(1)				(1)					
消 防 署	署 長	1		1					
	副 署 長	2		2					
	本 署	30		2	8	6	8	6	
	大 佐 分 署	9		1	1	4	1	2	
	神 郷 分 署	9		1	1	3	2	2	
	哲 多 分 署	9		1	1	3	1	3	
	哲 西 分 署	9		1	1	3	1	3	

再任用2名含む、( )内は兼務職員

7 職員の階級別年齢状況

(令和4年4月1日現在) (単位：人)

階級		計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員
年 齢 別									
20歳未満		3						3	
20歳～25歳		7						7	
26歳～30歳		15					9	6	
31歳～35歳		16				12	4		
36歳～40歳		15			5	10			
41歳～45歳		7			5	1			1
46歳～50歳		15		12	3				
51歳～55歳		3		3					
56歳以上		3	1		1				1
計		84	1	15	14	23	13	16	2
平均年齢(歳)		36.6	59.0	48.8	42.7	35.4	28.9	23.3	52.0

再任用2名含む

## 8 職員の勤続年数状況

(令和4年4月1日現在) (単位:人)

勤続年数 \ 階級	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
5年未満	14						12	2
5年以上～10年未満	14				1	9	4	
10年以上～15年未満	26				22	4		
15年以上～20年未満	5			5				
20年以上～25年未満	4			4				
25年以上～30年未満	14		10	4				
30年以上	7	1	5	1				
計	84	1	15	14	23	13	16	2

再任用2名含む

## 9 予算

### ○令和4年度一般会計当初予算と消防費の比較

(単位:千円)

一般会計 予算額	消防費 予算額	割合 (%)	消 防 費									
			消防 総務費	割合 (%)	地 域 防災費	割合 (%)	消防 施設費	割合 (%)	地 域 防災施設費	割合 (%)	災 害 対策費	割合 (%)
25,049,584	1,198,245	4.7	634,306	52.9	108,466	9.1	406,816	33.9	24,738	2.1	23,919	2.0

### ○消防費と人口・世帯数との比較

(単位:円)

令和4年度 消防費予算額	1世帯あたり 平均負担額	人口1人あたり 平均負担額	備 考
1,198,245,000	94,872	43,540	世帯数 12,630世帯 人口 27,520人

### ○令和4年度消防歳出予算(当初)

(単位:千円)

項 目	費 目	予 算 額
消 防 費	総 合 計	1,198,245
	合 計	634,305
消防総務費	報 給 員 手 当 酬 料 等 費 金	2,051
		283,649
		206,591
		101,953
		0

	報 旅 交 需 役 委 使 原 負 公	償  際 用 務 託 及 料 材 ・ 補 助 及 公	費 費 費 費 費 料 料 費 金 費	382 3,154 90 19,952 2,446 1,353 1,719 150 10,328 488
	合 計			108,466
地 域 防 災 費	報 旅 交 需 役 委 使 負 公	償  際 用 務 託 及 料 材 ・ 補 助 及 公	酬 費 費 費 費 費 料 料 金 費	56,261 493 8,815 200 6,842 646 568 628 33,220 793
	合 計			406,816
消 防 施 設 費	需 役 委 使 工 備 旅 公 負 補	用 務 託 及 料 事 品 購 ・ 財 産 購 入 補 助 及 公 補 償 補 填 及 公 賠 償	費 費 料 料 費 費 費 金 金	13,780 5,752 98,591 1,687 1,100 101,000 106 112,500 550 71,750
	合 計			24,738
地 域 防 災 施 設 費	需 委 工 原 備 負	用 託 事 材 料 購 入 ・ 補 助 及 公	費 料 費 費 費 金	2,458 300 14,700 180 6,900 200
	合 計			23,919
災 害 对 策 費	報 職 共 報 旅 需 役 委 使 負	員 手 濟 償  用 務 託 及 料 貸 借 ・ 補 助 及 公	酬 等 費 費 費 費 料 料 金	1,081 54 146 85 51 10,173 947 5,028 316 6,038

10 初任給格付基準

(令和4年4月1日)

学歴	格付	金額
高校卒業者	行政職給料表 1級 5号給	150,600円
短大卒業者	行政職給料表 1級 13号給	160,100円
大学卒業者	行政職給料表 1級 25号給	182,200円

11 職員諸手当支給状況

(令和4年4月1日)

手当種別	支給範囲	支給単位	金額
時間外勤務	正規の勤務時間以外に勤務することを命ぜられたとき	1時間当たりの給与額	100分の125 ～100分の150
休日勤務	当務員が休日等に勤務したとき	1時間当たりの給与額	100分の135 ～100分の160
夜間勤務	当務員が正規の勤務時間として深夜に勤務したとき	1時間当たりの給与額	100分の25
管理職員特別勤務	勤務を要しない日及び休日に勤務したとき	2時間以上6時間以下	10,000～12,000円
		6時間を越えたもの	15,000～18,000円
	週休日等以外の日の午前0時から午前5時までの間に勤務したとき	1回当たり(2時間以上)	5,000～6,000円
特殊勤務手当	救急業務に出場し、傷病者の搬送作業に従事した消防職員	1回当たり	300円
	上記業務のうち、救急救命士の資格を有する者に限定された行為に従事した消防職員	1回当たり	200円
	要救助者の救助作業に従事した消防職員	1回当たり	300円
	緊急時における大型緊急車両の運転に従事した消防職員	1回当たり	200円
	緊急時における大型以外の緊急車両の運転に従事した消防職員	1回当たり	100円
	感染症防疫作業に従事した場合(1類、2類等)	1日	700円
※新型コロナウイルス感染症特殊業務手当	感染した傷病者の搬送等従事した場合	1日	1,000円
	当該業務に長時間にわたり従事した場合	1日	1,500円

1 2 学校等研修状況

(令和4年4月1日現在)

区 別		年度別	H28	H29	H30	R元	R2	R3	
総 数			34	30	25	33	18	17	
消 防 大 学 校	幹 部 研 修 科			1	1				
	上 級 幹 部 科								
	警 防 科								
	予 防 科		1					1	
	救 急 科								
	救 助 科								
	火 災 調 査 科								
	新 任 消 防 長 コ ー ス		1						
	幹 部 科								
消 防 学 校	初 任 教 育		4	6	3	6	1	1	
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	2	2	2	2	2	2	
		中 級 幹 部 科	2	1	1	2	2	2	
		上 級 幹 部 科							
	専 科 教 育	警 防 科	2	2	2	2	2	2	
		予 防 科	1	1	2	1	2	2	
		火 災 調 査 科	1	2	2	2	2	2	
		救 急 科	4	6	3	6	1	1	
		救 助 科	4	2	3	3	2	2	
	特 別 教 育	二 次 救 命 処 置 講 習							
		気 管 挿 管 講 習							
		外 傷 初 療 研 修							
		薬 剤 投 与 講 習							
		ビ デ オ 硬 性 挿 管 用 喉 頭 鏡 講 習				4	2		
		シ ョ ッ ク へ の 輸 液 ・ ブ ド ウ 糖 投 与 講 習		9	4				
	ブ ラ ッ シ ュ ア ッ プ 研 修					4	2	2	
	救 急 救 命 士	救 急 救 命 士 養 成 課 程		2	2	2	2	2	1
指 導 救 命 士 養 成 研 修					1				

## 13 消防職員各種免許資格取得状況

(令和4年4月1日現在)

区分		階級別	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員
自動車運転免許	大型車		66		15	13	23	10	5	
	中型車		2		1			1		
	準中型車		10						8	2
	普通車		6						5	1
	大型特殊		5		1	3	1			
	けん引		5		3	2				
	自動二輪		34		7	10	12	3	1	1
危険物取扱者甲種			1			1				
危険物取扱者乙種			34		6	6	14	5	2	1
消防設備士 甲種			1			1				
消防設備士 乙種			4		1	2	1			
火薬類保安責任者			0							
特殊無線技士			76		15	13	23	12	13	
航空特殊無線技士			2				2			
ボイラー技士			3		1	2				
アセチレンガス溶接士			2		2					
電気工事士			4			1	2		1	
建築士			1				1			
毒劇物取扱者			5		1	2	1	1		
小型船舶操縦士			12		6	3	3			
潜水士			5		2	1	2	1		
応急手当指導員			69		12	9	23	12	13	
移動式クレーン技能			34		11	9	13	1		
玉掛け技能			34		11	9	13	1		
高所作業技能			6		3	2	1			
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			6		1	2	2	1		
救急救命士			31		10	4	10	4	3	
小型建設機械			3		2		1			
フォークリフト			4		1		3	1		
予防技術資格者 査察			9		1	3	5			
予防技術資格者 設備			4			1	3			
予防技術資格者 危険物			5		1	2	2			
衛生推進者			8		6	1	1			

## 14 職員表彰状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

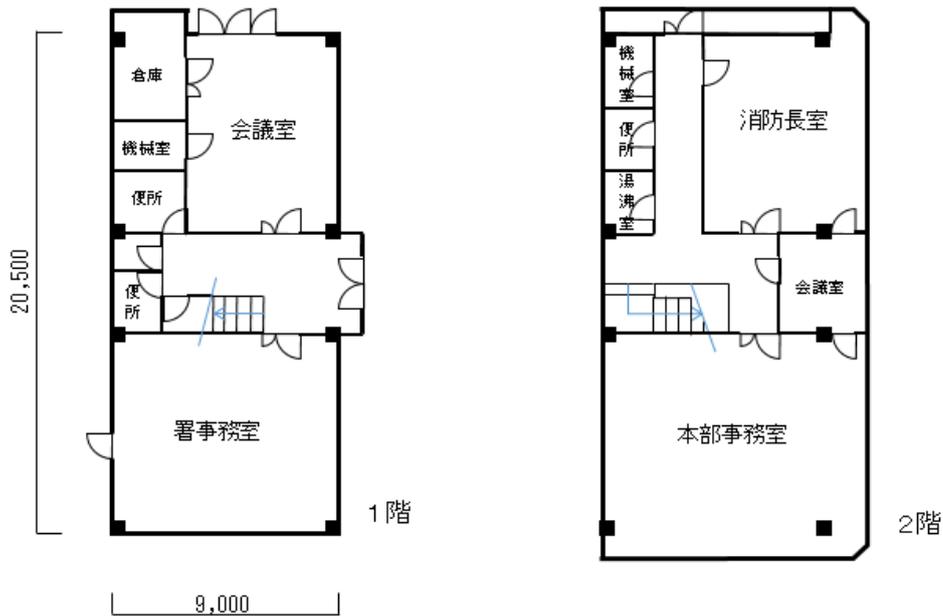
	累計	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	652	9		9				
消防庁長官表彰 永年勤続功労章	28	1		1				
岡山県知事表彰 永年勤続功労章	31							
日本消防協会長 功績章	14	1		1				
精績章	29	1		1				
勤続章	58	1		1				
岡山県消防協会長 功労章	32	1		1				
表彰章	45	1		1				
精勤章	76							
全国消防長会長 永年勤続40年表彰	21							
永年勤続35年表彰	17							
永年勤続30年表彰	59	2		2				
永年勤続25年表彰	55							
永年勤続20年表彰	65							
全消会中国支部長 永年勤続15年表彰	80							
備中地区消防連絡 協議会長表彰	42	1		1				

# 15 消防庁舎の現況

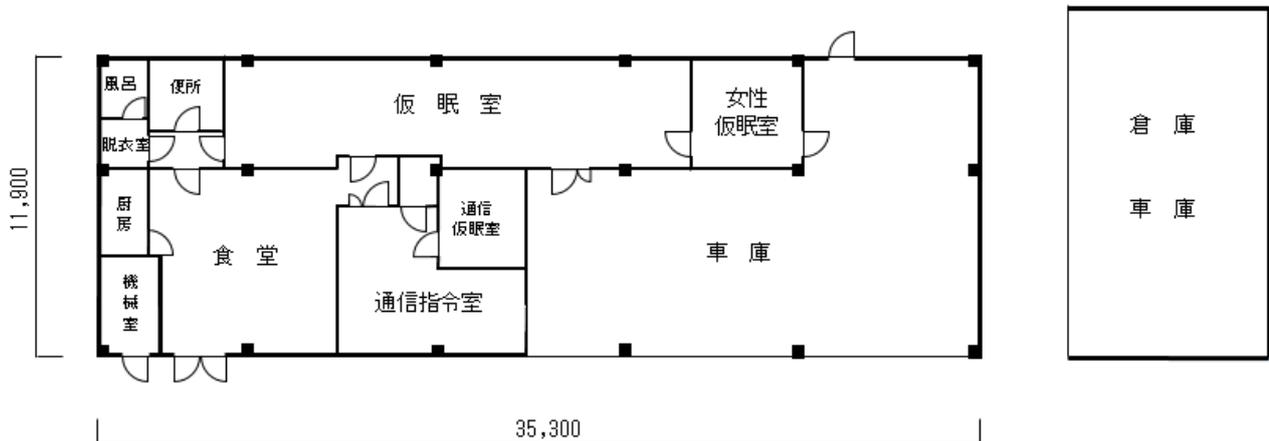
名称	所在地	建築年月日	構造・面積	敷地面積
消防本部 新見市消防署	新見市新見 312 番地 2	昭和 51 年 2 月 6 日	鉄筋コンクリート造 2 階建て 延べ面積 397.13 m <sup>2</sup>	2,082.00 m <sup>2</sup>
		昭和 57 年 4 月 30 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 420.07 m <sup>2</sup>	
		昭和 61 年 3 月 31 日	鉄骨ブロック造平屋建て 延べ面積 117.79 m <sup>2</sup>	
大佐分署	新見市大佐小阪部 1327 番地 1	平成 9 年 3 月 26 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 270.06 m <sup>2</sup>	1,289.69 m <sup>2</sup>
神郷分署	新見市神郷釜村 1187 番地 1	平成 14 年 3 月 30 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 267.52 m <sup>2</sup>	1,274.31 m <sup>2</sup>
哲多分署	新見市哲多町矢戸 701 番地 2	平成 16 年 3 月 22 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 268.00 m <sup>2</sup>	816.95 m <sup>2</sup>
哲西分署	新見市哲西町矢田 2559 番地 4	平成 15 年 2 月 28 日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 268.25 m <sup>2</sup>	1,281.29 m <sup>2</sup>

## 庁舎平面図

本部

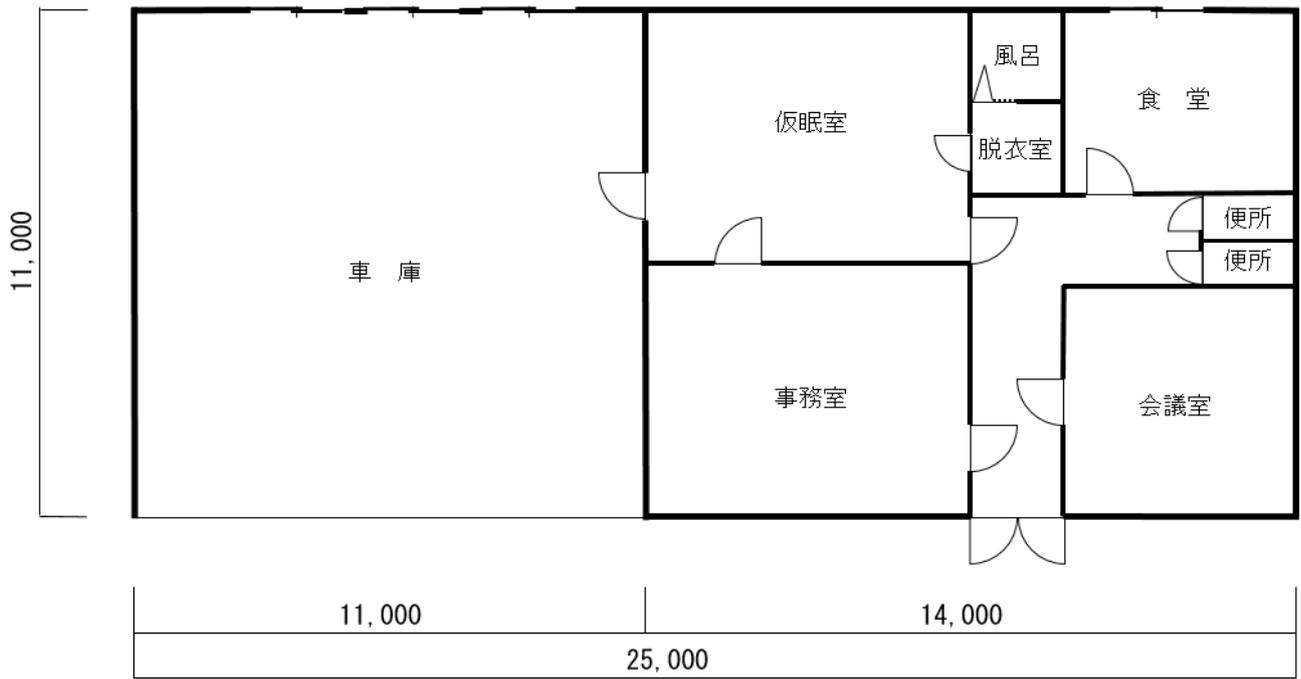


本署



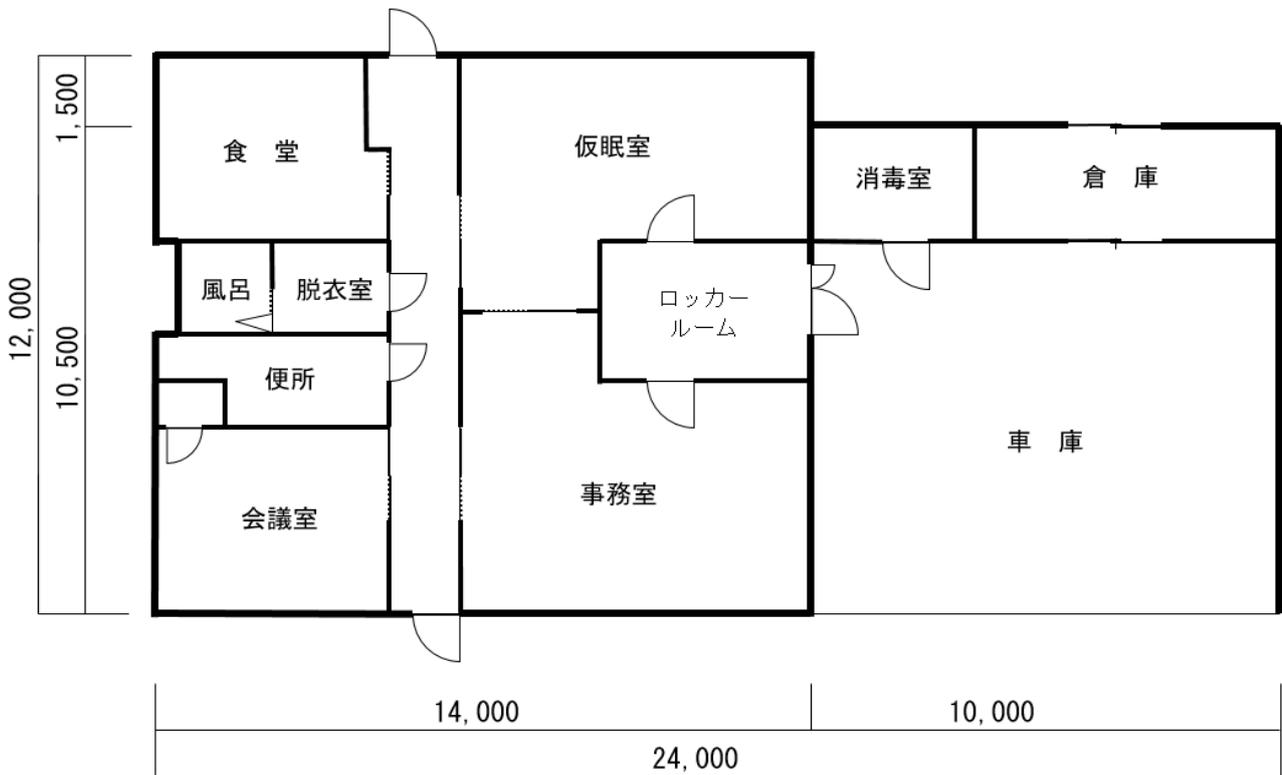
(単位：mm)

大佐分署



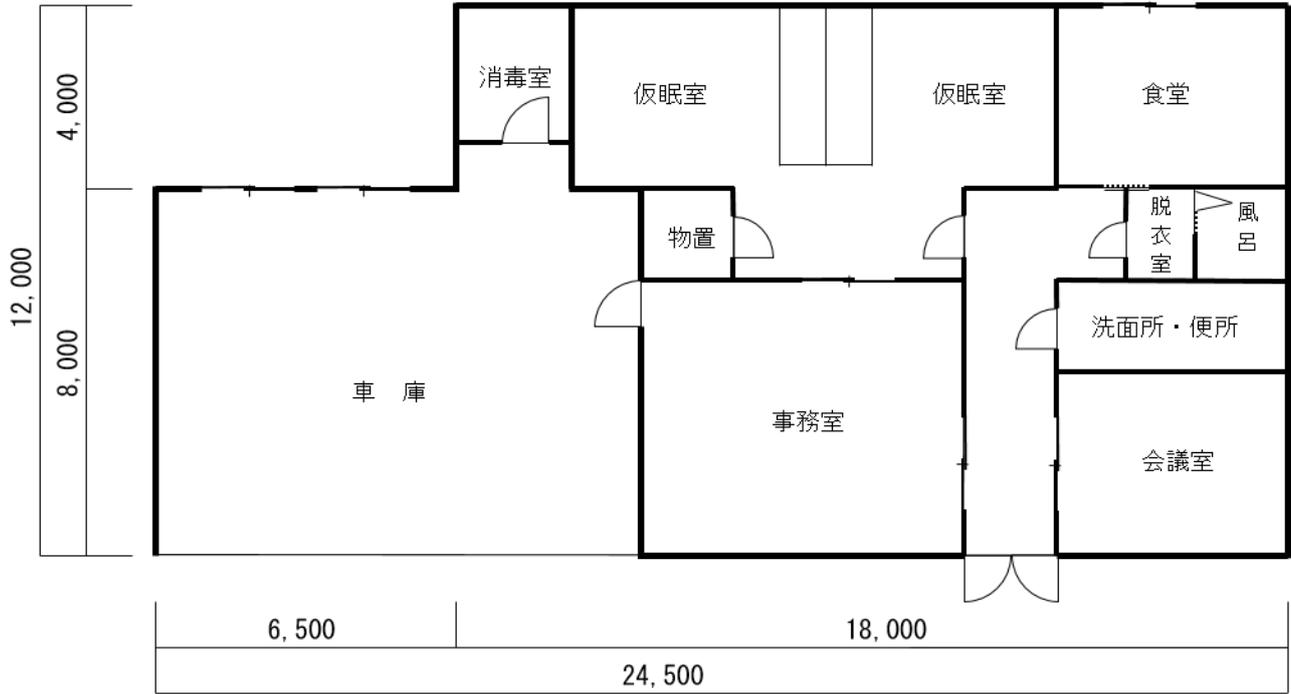
(単位：mm)

神郷分署



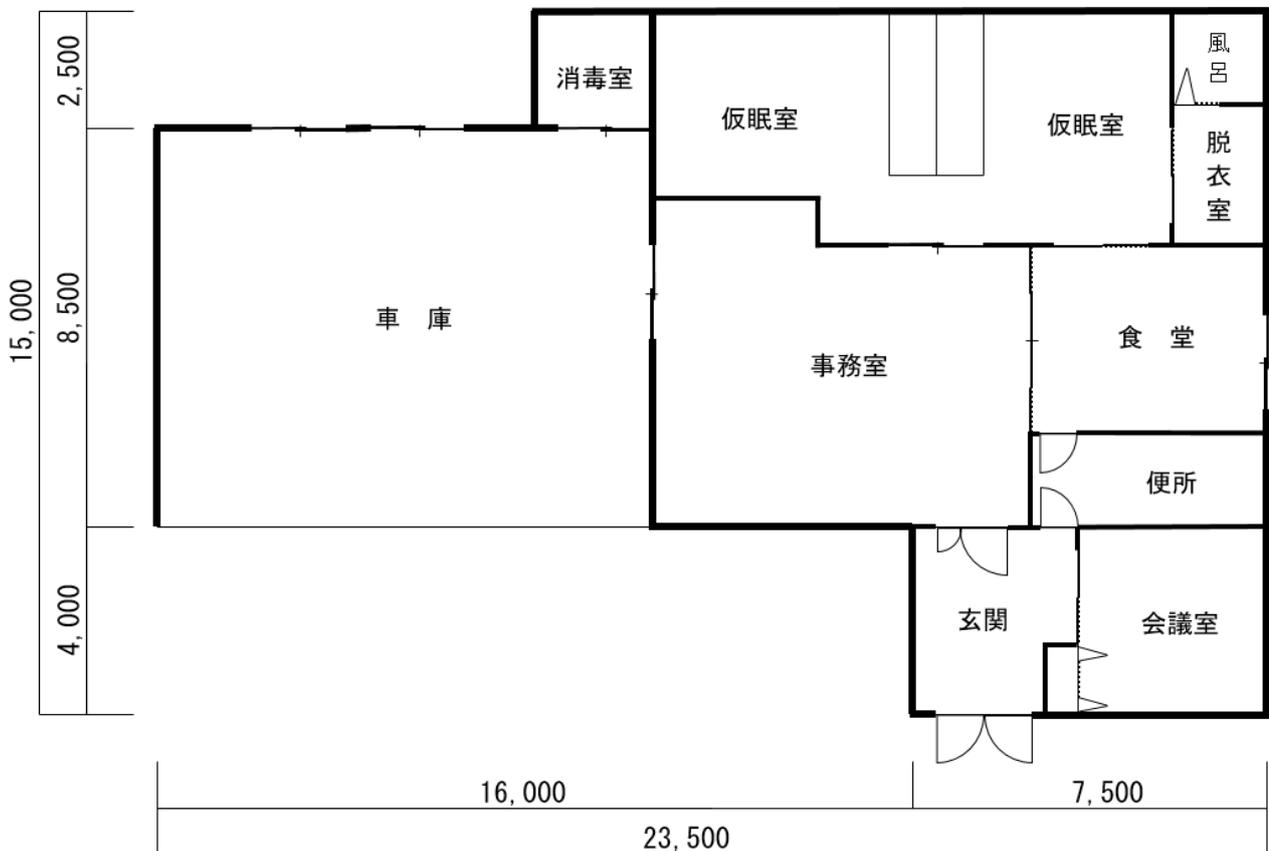
(単位：mm)

哲多分署



(単位 : mm)

哲西分署



(単位 : mm)

予 防

# 予 防

## 1 一般予防

(1) 火災予防条例等に基づく各種届出事務処理状況 (令和3年度) (単位: 件)

届出種別	火を使用する設備設置届	変電設備設置届	発電設備設置届	蓄電池設備設置届	アセチレンガス等	水素ガス気球設置届	少量危険物貯蔵取扱届	指定可燃物貯蔵取扱届	火災とまぎらわしい行為の届	煙火打上げ届	道路工事占用届	催物開催催届	防火対象物使用開始届	防火管理者選解任届	消防計画届	消防訓練通知	総数
件数	5	14	6	3	2	0	6	0	764	8	557	0	24	58	63	140	1,650

(2) 広報活動等実施状況 (令和3年度) (単位: 回、件)

区分	広 報 活 動												広聴事務処理
	防火講習会	避難通報消火訓練	防災訓練	地震体験車による地震体験	消防フェア	幼・少年消防クラブ員	署・署内見学	一般住宅防火診断	一日消防署長	救急講習会	職場体験学習	住宅用火災警報器設置調査	
回・件数	0	69	1	14	0	0	39	129	0	49	3	129	10

## (3) 防火対象物件数、予防査察実施状況

(令和3年度) (単位: 件)

防火対象物種別		法第8条該当 防火対象物数	法第8条の2の2 該当防火対象物数	法第17条該当 防火対象物数	予 防 査 察 件 数
総 数		429	16	888	67
1項	イ 劇場の類	1	0	0	0
	ロ 集会場の類	63	1	4	17
2項	イ キャバレーの類	0	0	0	0
	ロ 遊技場の類	1	1	0	0
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0	0	0	0
3項	ニ カラオケボックス等	0	0	0	0
	イ 待合の類	0	0	0	0
4項	ロ 飲食店	22	0	3	5
	イ 百貨店の類	24	4	21	11
5項	ロ 共同住宅の類	16	0	161	0
	イ 旅館の類	5	0	4	0
6項	ロ 福祉施設の類	22	0	0	1
	ハ 保育園・老人デイサービスセンターの類	28	0	15	1
	ニ 幼稚園の類	0	0	0	0
	イ 病院の類	8	1	8	0
7項	イ 各種学校の類	73	0	6	0
8項	ロ 図書館の類	5	0	0	1
9項	イ サウナ等の公衆浴場類	0	0	0	0
	ロ イ以外の公衆浴場類	2	0	0	0
10項	イ 車両等の駐車場の類	0	0	0	0
11項	イ 社寺の類	9	0	15	0
12項	イ 工場の類	31	0	191	8
	ロ 映画等スタジオの類	0	0	0	0
13項	イ 自動車車庫の類	2	0	27	0
	ロ 飛行機等の格納庫類	0	0	0	0
14項	イ 倉庫	13	0	99	0
15項	イ 前各項に該当しない事業所	49	0	236	2
16項	イ 特定用途の複合防火対象物	50	9	41	8
	ロ イ以外の複合防火対象物	5	0	47	3
16項の2	イ 地下街	0	0	0	0
16項の3	イ 準地下街	0	0	0	0
17項	イ 重要文化財の類	0	0	10	10
18項	イ アーケード	0	0	0	0

(注) 法第8条 防火管理者を必要とする対象物

(注) 法第8条の2の2 防火対象物点検報告を必要とする対象物

(注) 法第17条 消防用設備等の設置を必要とする対象物(法第8条該当防火対象物を

(注) 含まない)

## (4) 消防用設備等設置状況

(令和3年度)(単位:設備)

政令の設備	設備の内訳	設置数
消火設備	屋内消火栓設備	80
	屋外消火栓設備	10
	スプリンクラー設備	26
	泡消火設備	1
	ハロゲン化物消火設備	0
	粉末消火設備	4
警報設備	自動火災報知設備	457
	非常警報設備	211
避難設備	避難器具	27
	誘導灯	304

## (5) 中高層建築物の状況

(令和3年度)(単位:棟)

階別	総数	3階	4階	5階	6階	7階以上
棟数	202	142	35	23	2	0

## (6) 自主防災組織の現況

(令和4年4月1日現在)(単位:団体、人)

区分 市別	女性防火クラブ		少年消防クラブ		幼年消防クラブ		計	
	組織数	人員	組織数	人員	組織数	人員	組織数	人員
新見市	25	820	8	393	12	655	45	1,868

## 2 建 築

### (1) 過去5年間の建築同意等事務処理件数

(単位：件)

年 度 別	確 認 申 請	計 画 通 知	確認申請受理通知	計
平成 29 年度	22	3	21	46
平成 30 年度	29	1	22	52
令和 元 年度	28	1	21	50
令和 2 年度	46	0	29	75
令和 3 年度	18	1	25	44

### (2) 建築同意等事務処理件数

(令和3年度) (単位：件)

区 分	確 認 申 請	計 画 通 知	確認申請受理通知	計
同 意 ・ 通 知	18	1	25	44
条 件 付 同 意	0	0	0	0
不 同 意	0	0	0	0
計	18	1	25	44

### (3) 建築同意等の構造別事務処理状況

(令和3年度) (単位：件)

区 分 \ 種 別	耐 火	準 耐 火	そ の 他	計
	件 数	件 数	件 数	件 数
確 認 申 請・計 画 通 知	0	2	17	19
確 認 申 請 受 理 通 知	0	0	25	25
計	0	2	42	44

### (4) 建築同意等の工事種別事務処理状況

(令和3年度) (単位：件)

区 分 \ 種 別	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計
	件 数	件 数	件 数	件 数	件 数
確 計 画 通 知	17	1	0	1	19
確 認 申 請 受 理 通 知	25	0	0	0	25
計	42	1	0	1	44

## (5) 建築同意等の用途別事務処理状況

(令和3年度)(単位:件)

用 途	件 数
総 数	19
劇 場 ・ 映 画 館 ・ 観 覧 場	0
公 会 堂 又 は 集 会 場	0
キャバレー・カフェ・ナイトクラブ類	0
遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	0
性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0
カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	0
待 合 ・ 料 理 店	0
飲 食 店	0
百 貨 店 又 は マ ー ケ ッ ト	0
旅 館 ・ ホ テ ル	0
下 宿 ・ 寄 宿 舎 又 は 共 同 住 宅	2
病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	0
各 種 福 祉 施 設	0
保 育 園 ・ 老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー	1
幼 稚 園 ・ 盲 口 ウ 学 校	0
小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校	0
図 書 館 ・ 美 術 館	0
サ ウ ナ 等 の 公 衆 浴 場	0
そ の 他 の 公 衆 浴 場	0
停 車 場 又 は 発 着 場	0
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	0
工 場 又 は 作 業 場	1
ス タ ジ オ	0
車 庫 又 は 駐 車 場	0
飛 行 機 等 の 格 納 庫	0
倉 庫	3
各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	6
特 定 用 途 を 含 む 複 合	0
上 記 以 外 の 複 合	0
一 般 住 宅	5
準 住 宅 ・ 併 用 住 宅	1
そ の 他	0

## (6) 消防用設備等届出及び検査状況

(令和3年度)(単位:件)

種 別		区 分	着 工 届	設 置 届	検 査 済
		総 数	17	59	45
消 火 設 備	消 火 器	0	17	17	
	屋 内 消 火 栓	0	0	0	
	ス プ リ ン ク ラ ー	1	1	1	
	水 噴 霧	0	0	0	
	泡	0	0	0	
	二 酸 化 炭 素	0	0	0	
	ハ ロ ゲ ン 化 物	0	0	0	
	粉 末	0	0	0	
	屋 外 消 火 栓	0	1	1	
	動 力 消 防 ポ ン プ	0	0	0	
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知	7	21	7	
	漏 電 火 災 警 報 器	0	0	0	
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 設 備	1	0	0	
	非 常 警 報 設 備	1	2	2	
避 難 設 備	避 難 器 具	0	0	0	
	誘 導 灯	6	16	16	
消 防 用 水	消 防 用 水	0	0	0	
必 要 な 施 設 上	排 煙 設 備	0	0	0	
	連 結 散 水	0	0	0	
	連 結 送 水	0	0	0	
	非 常 コ ン セ ン ト	0	0	0	
	無 線 通 信 補 助 設 備	0	0	0	
非 常 電 源	専 用 受 電 設 備	0	0	0	
	自 家 発 電 設 備	1	1	1	
	蓄 電 池 設 備	0	0	0	

### 3 危険物

(1) 過去5年間の施設数の状況

(令和4年4月1日現在) (単位: 件)

種別 年度別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					事 業 所 の 数	
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵 所	屋 内 タンク 貯蔵 所	地 下 タンク 貯蔵 所	簡 易 タンク 貯蔵 所	移 動 タンク 貯蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
H29	239	0	136	13	4	31	5	40	0	43	103	61	1	0	0	41	85
30	239	0	134	12	5	31	5	40	0	41	105	60	1	0	0	44	85
R元	235	0	133	12	4	31	5	39	0	42	102	59	1	0	0	42	80
2	233	0	131	12	4	29	5	40	0	41	102	59	1	0	0	42	79
3	229	0	129	11	4	29	5	38	0	42	100	59	1	0	0	40	78

(2) 数量別危険物施設状況

(令和4年4月1日現在) (単位: 件)

区 分	数量別	総 数	5 倍	5 倍	10 倍	50 倍	100 倍	150 倍	200 倍	1000 倍	5000 倍	10000 倍
			以下	を超え 10 倍 以下	を超え 50 倍 以下	を超え 100 倍 以下	を超え 150 倍 以下	を超え 200 倍 以下	を超え 5000 倍 以下	を超え 10000 倍 以下	を超えるもの	
総	数	229	96	39	53	23	10	3	5	0	0	0
製	造 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯 蔵 所	小 計	129	77	21	23	7	1	0	0	0	0	0
	屋 内 貯 蔵 所	11	6	1	4	0	0	0	0	0	0	0
	屋 外 貯 蔵 所	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	屋 外 タンク 貯蔵 所	29	6	9	10	4	0	0	0	0	0	0
	屋 内 タンク 貯蔵 所	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	地 下 タンク 貯蔵 所	38	23	6	5	3	1	0	0	0	0	0
	簡 易 タンク 貯蔵 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取 扱 所	移 動 タンク 貯蔵 所	42	36	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	100	19	18	30	16	9	3	5	0	0	0
	給 油 取 扱 所	59	4	9	14	15	9	3	5	0	0	0
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移 送 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一 般 取 扱 所	40	15	8	16	1	0	0	0	0	0	0	

## (3) 危険物類別施設状況

(令和4年4月1日現在)(単位:施設)

種 別 施設区分		総 数	単 独						混 在
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	
総 数		229	0	0	0	229	0	0	0
製 造 所		0	0	0	0	0	0	0	0
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	11	0	0	0	11	0	0	0
	屋 外 貯 蔵 所	4	0	0	0	4	0	0	0
	屋 外 タンク 貯 蔵 所	29	0	0	0	29	0	0	0
	屋 内 タンク 貯 蔵 所	5	0	0	0	5	0	0	0
	地 下 タンク 貯 蔵 所	38	0	0	0	38	0	0	0
	簡 易 タンク 貯 蔵 所	0	0	0	0	0	0	0	0
	移 動 タンク 貯 蔵 所	42	0	0	0	42	0	0	0
取 扱 所	給 油 取 扱 所	59	0	0	0	59	0	0	0
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0	0	0	1	0	0	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0
	移 送 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0
	一 般 取 扱 所	40	0	0	0	40	0	0	0

## (4) 危険物施設立入検査の状況

(令和3年度)(単位:施設、回)

区 分		施 設 数	検 査 施 設 数	延 回 数
総 数		233	20	20
製 造 所		0	0	0
貯 蔵 所	小 計	131	13	13
	屋 内 貯 蔵 所	12	0	0
	屋 外 貯 蔵 所	4	0	0
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	29	9	9
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	5	1	1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	40	0	0
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	0	0	0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	41	3	3
取 扱 所	小 計	102	7	7
	給 油 取 扱 所	59	1	1
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0
	移 送 取 扱 所	0	0	0
	一 般 取 扱 所	42	6	6



#### 4 煙火消費許可

過去5年間煙火消費許可件数

(単位：件)

年 度	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
許 可 件 数	16	12	16	3	8

#### 5 高圧ガス

(1) 第一種製造者及び第二種製造者数

(単位：事業所)

種別 \ 年度		平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
第一種製造者	一般則	0	0	0	1	1
	LP則	2	2	2	2	2
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	2	2	2	3	3
	冷凍則	2	2	1	1	1
第二種製造者	一般則	5	5	4	4	4
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	5	5	4	4	4
	冷凍則	11	11	8	8	8

(2) 販売業者、貯蔵所数

(単位：事業所)

種別 \ 年度		平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
販売業者	一般則	20	21	21	21	21
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	20	21	21	21	21
	冷凍則	0	0	0	0	0
一種貯蔵所	一般則	0	0	0	0	0
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	0
二種貯蔵所	一般則	3	3	2	2	2
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合 計	3	3	2	2	2

## (3) 特定高圧ガス消費者及び登録容器検査所数

(単位：事業所)

種別		年度				
		平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
特定高圧ガス消費者	一般則	2	2	2	2	2
	LP則	0	0	0	0	0
	一般・LP則	0	0	0	0	0
	合計	2	2	2	2	2
登録容器検査所数		0	0	0	0	0

※ 一般則：一般高圧ガス保安規則をいう。

LP則：液化石油ガス保安規則をいう。

冷凍則：冷凍保安規則をいう。

警 防

# 警 防

## 1 消防力の現況

(令和4年4月1日現在)

区分 署所名	署 所	消 防 職 員	普 通 消 防 ポン プ 自動 車	水 槽 付 消 防 ポン プ 自動 車	化 学 消 防 自動 車	救 助 工 作 車	は し ご 付 消 防 自動 車	救 急 自 動 車	無 線 電 話		
									基 地 局	固 定 局	移 動 局
消 防 力 の 基 準	4	120	5	1	1	1	1	6			
現 有 計	5	84	5	2	1	1	0	7	6	5	72
消 防 本 部 ・ 署	1	48	2	1	1	1	0	3	2	1	40
大 佐 分 署	1	9	1	0	0	0	0	1	2	1	8
神 郷 分 署	1	9	1	0	0	0	0	1	1	1	8
哲 多 分 署	1	9	0	1	0	0	0	1	0	1	8
哲 西 分 署	1	9	1	0	0	0	0	1	1	1	8

## 2 消防出動状況

(令和3年中) (単位:回、人)

計		火 災		救急業務		救助業務		風水害の災害		演習訓練		広報・指導	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
2,130	6,217	17	289	1,523	4,518	13	108	3	16	19	102	170	215

警防調査		原因調査		特別警戒		捜 索		予防査察		誤 報 等		そ の 他	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
208	478	25	101	5	14	4	18	2	5	6	37	135	316

3 消防装備（本部・署自動車等配置状況）

（令和4年4月1日現在）

所 属	車 両 別	名 称	登 録 番 号	車 名	定員	年 式	購 入 年 月	原 動 機 性 能		ポ ン プ 性 能		無 線		備 考	
								気筒数	排気量	級 別	規格放水量	出 力	呼出名称		
本 部	指令査察車	新見指揮1号車	岡山 800 さ 7458	ニッサン	5	平成14	平成14.7	4	1,990cc			5W	にいみしき1		
	予防指導車		岡山 100 す 7839	マツダ	3	平成21	平成21.8	4	1,990cc						
	本 部 車		岡山 500 の 562	トヨタ	5	平成13	平成13.1	4	1,790cc						
	団 活 動 車	新見団指揮1号車	岡山 880 あ 443	ダイハツ	4	平成20	平成20.2	3	650cc			5W	にいみだんしき1		
	多 機 能 車		岡山 800 す 5864	イズズ	6	平成22	平成22.3	4	2,990cc						
消 署	本 署	救 急 車	新見救急1号車	岡山 800 せ 2513	ニッサン	7	令和 3	令和3.2	4	2,480cc			5W	にいみきゆうきゆう1	
		救 急 車	新見救急2号車	岡山 800 せ 3103	ニッサン	7	令和 4	令和4.3	4	2,480cc			5W	にいみきゆうきゆう2	
		救 急 車	新見救急3号車	岡山 800 せ 1439	ニッサン	7	平成31	平成31.3	4	2,480cc			5W	にいみきゆうきゆう3	
		消 防 車	新見ポンプ1号車	岡山 800 す 4371	ヒノ	5	平成20	平成20.2	4	4,000cc	A2	2.35m <sup>3</sup> /min	5W	にいみぽんぷ1	
		消 防 車	新見ポンプ2号車	岡山 88 す 5687	イズズ	6	平成 5	平成5.10	4	3,630cc	A2	2.23m <sup>3</sup> /min	5W	にいみぽんぷ2	
		化 学 車	新見化学1号車	岡山 88 ふ 1737	ヒノ	6	平成 8	平成8.12	8	7,960cc	A2	2.53m <sup>3</sup> /min	5W	にいみかがく1	薬液500ℓ 水槽1,500ℓ
		救助工作車	新見救助1号車	岡山 800 は 1228	ヒノ	6	平成22	平成22.6	6	6,400cc			5W	にいみきゆうじょ1	
		タ ン ク 車	新見タンク1号車	岡山 800 は 1338	ヒノ	6	平成24	平成24.12	6	6,400cc	A2	2.22m <sup>3</sup> /min	5W	にいみたんく1	薬液60ℓ 水槽2,000ℓ
		連 絡 車	連 絡 車	岡山 300 ほ 1631	トヨタ	10	平成17	平成17.3	4	2,690cc					
	防 署	大 佐 分 署	消 防 車	大佐ポンプ1号車	岡山 800 せ 2016	ヒノ	5	令和 2	令和2.3	6	4,000cc	A2	2.23m <sup>3</sup> /min	5W	おおさぽんぷ1
救 急 車			大佐救急1号車	岡山 800 す 5557	トヨタ	7	平成21	平成21.11	4	2,690cc			5W	おおさきゆうきゆう1	
指揮連絡車			大佐指揮1号車	岡山 80 あ 625	三菱	4	平成 5	平成5.7	3	650cc			5W	おおさしき1	
神 郷 分 署		消 防 車	神郷ポンプ1号車	岡山 88 せ 1828	三菱	6	平成 9	平成9.12	4	4,560cc	A2	2.26m <sup>3</sup> /min	5W	しんごうぽんぷ1	
		救 急 車	神郷救急1号車	岡山 800 す 9317	ニッサン	8	平成27	平成27.11	4	2,500cc			5W	しんごうきゆうきゆう1	
		指揮連絡車	神郷指揮1号車	岡山 80 あ 581	三菱	4	平成 4	平成4.12	3	650cc			5W	しんごうしき1	
哲 多 分 署		消 防 車	哲多ポンプ1号車	岡山 800 す 5717	ヒノ	5	平成22	平成22.1	6	4,000cc	A2	2.35m <sup>3</sup> /min	5W	てったぽんぷ1	薬液60ℓ 水槽600ℓ
		救 急 車	哲多救急1号車	岡山 800 せ 558	ニッサン	7	平成29	平成29.11	6	3,490cc			5W	てったきゆうきゆう1	
		指揮連絡車	哲多指揮1号車	岡山 80 あ 626	三菱	4	平成 5	平成5.7	3	650cc			5W	てったしき1	
哲 西 分 署		消 防 車	哲西ポンプ1号車	岡山 800 さ 1440	三菱	6	平成11	平成11.3	6	4,560cc	A2	2.23m <sup>3</sup> /min	5W	てっせいぽんぷ1	
		救 急 車	哲西救急1号車	岡山 800 せ 3104	ニッサン	7	令和 4	令和4.3	4	2,480cc			5W	てっせいきゆうきゆう1	
		指揮連絡車	哲西指揮1号車	岡山 880 あ 1699	スズキ	4	平成29	平成29.8	3	650cc			5W	てっせいしき1	

#### 4 有線通信施設

本 部、署

(令和4年4月1日現在)

種 別	回線数	備 考
119 番 受 付	12 (うち4回線は移動体)	新見(2), 大佐, 神郷, 哲多, 哲西, IP(2) ドコモ, au, ソフトバンク, イーモバイル
加 入 電 話	4	新見局(0867) 72-2810 (代)
直 通 電 話	8	新見市役所(2), 中国自動車道マイクロ電話, 各分署 県防災(4)

##### 大佐分署

加 入 電 話	1	大佐局(0867) 98-2131
直 通 電 話	1	マイクロ電話

##### 神郷分署

加 入 電 話	1	神郷局(0867) 93-5012
直 通 電 話	1	マイクロ電話

##### 哲多分署

加 入 電 話	1	哲多局(0867) 96-2131
直 通 電 話	1	マイクロ電話

##### 哲西分署

加 入 電 話	1	哲西局(0867) 94-2103
直 通 電 話	1	マイクロ電話

#### 5 無線通信施設

(令和4年4月1日現在)

防災行政通信ネットワークの衛星系	6335
------------------	------

##### 基地局

種 別 / 区 分	設 置 場 所	呼 出 名 称	空 中 線 電 力	所 属
基地局(マイクロ多重無線設備)	鳶ヶ巣山	しょうぼうとびがすやま	20W	新見市消防署
基地局(マイクロ多重無線設備)	佐武佐山	しょうぼうさぶさやま	20W	新見市消防署
基地局	大佐分署	しょうぼうおおさ	10W	新見市消防署
基地局	新見市 大佐大井野	しょうぼうおおいの	10W	新見市消防署
基地局	新見市 千屋花見	しょうぼうちや	10W	新見市消防署
基地局	哲西分署	しょうぼうてっせい	10W	新見市消防署

固定局・移動局

(車載はデュアルバンド)

種別 \ 区分	設置場所	呼出名称	空中線電力	所属
固定局	新見市消防署	にいみしょうぼう	5W	新見市消防署
固定局	大佐分署	おおさしょうぼう	5W	大佐分署
固定局	神郷分署	しんごうしょうぼう	5W	神郷分署
固定局	哲多分署	てったしょうぼう	5W	哲多分署
固定局	哲西分署	てっせいしょうぼう	5W	哲西分署
移動局(車載)	救急車	にいみきゅうきゅう 1	5W	新見市消防署
移動局(車載)	救急車	にいみきゅうきゅう 2	5W	新見市消防署
移動局(車載)	救急車	にいみきゅうきゅう 3	5W	新見市消防署
移動局(車載)	消防車	にいみぼんぷ 1	5W	新見市消防署
移動局(車載)	消防車	にいみぼんぷ 2	5W	新見市消防署
移動局(車載)	指令査察車	にいみしき 1	5W	本部
移動局(車載)	化学車	にいみかがく 1	5W	新見市消防署
移動局(車載)	救助工作車	にいみきゅうじょ 1	5W	新見市消防署
移動局(車載)	団活動車	にいみだんしき 1	5W	新見市消防署
移動局(車載)	タンク車	にいみたんく 1	5W	新見市消防署
移動局(車載)	消防車	おおさぼんぷ 1	5W	大佐分署
移動局(車載)	救急車	おおさきゅうきゅう 1	5W	大佐分署
移動局(車載)	指揮連絡車	おおさしき 1	5W	大佐分署
移動局(携帯)	大佐分署	おおさ 101	2W	大佐分署
移動局(携帯)	大佐分署	おおさ 102	2W	大佐分署
移動局(車載)	消防車	しんごうぼんぷ 1	5W	神郷分署
移動局(車載)	救急車	しんごうきゅうきゅう 1	5W	神郷分署
移動局(車載)	指揮連絡車	しんごうしき 1	5W	神郷分署
移動局(携帯)	神郷分署	しんごう 101	2W	神郷分署
移動局(携帯)	神郷分署	しんごう 102	2W	神郷分署
移動局(車載)	消防車	てったぼんぷ 1	5W	哲多分署
移動局(車載)	救急車	てったきゅうきゅう 1	5W	哲多分署
移動局(車載)	指揮連絡車	てったしき 1	5W	哲多分署
移動局(携帯)	哲多分署	てった 101	2W	哲多分署
移動局(携帯)	哲多分署	てった 102	2W	哲多分署
移動局(車載)	消防車	てっせいぼんぷ 1	5W	哲西分署
移動局(車載)	救急車	てっせいきゅうきゅう 1	5W	哲西分署

移動局（車載）	指揮連絡車	てっせいしき 1	5W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てっせい 101	2W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てっせい 102	2W	哲西分署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 101	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 102	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 103	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 104	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 105	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 106	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 107	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 108	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 109	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみしき 110	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみしき 111	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	しき 20	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	しき 30	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 1	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 2	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 3	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 4	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 5	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 6	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 7	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 8	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 9	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 10	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 11	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 12	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 13	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 14	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 15	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしよ 16	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 1	1W	大佐分署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 2	1W	大佐分署

移動局（携帯）	大佐分署	お お さ 3	1W	大佐分署
移動局（携帯）	神郷分署	し ん ご う 1	1W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	し ん ご う 2	1W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	し ん ご う 3	1W	神郷分署
移動局（携帯）	哲多分署	て っ た 1	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	て っ た 2	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	て っ た 3	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲西分署	て っ せ い 1	1W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	て っ せ い 2	1W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	て っ せ い 3	1W	哲西分署





## (2) 原因別火災発生状況

(令和3年中)

出火原因	件数	焼損面積等				損害額 (千円)
		床(m <sup>2</sup> )	表面(m <sup>2</sup> )	林野(a)	車両(台)	
不明	2	219.5	0	0	0	2,279
その他	6	0.1	0	0.3	0	225
火入れ	4	0	0	14.0	0	1
たき火	2	176.9	0	0	0	1,474
煙突	1	164.7	0	0	0	2,449
配線器具	1	81.9	0	0	0	1,861
放火	1	0	0	0	0	0
総計	17	643.1	0	14.3	0	8,289

## (3) 出火原因別(発火源・経過・着火物)発生状況

(令和3年中)(単位:件)

発火源		経過		着火物	
不明	5	不明	5	不明	5
枯れ草焼き	4	消したはずのものが再燃する	1	枯草	4
その他	1	伝導加熱する	1	その他	6
火のついたゴミ	1	火源が動いて接触する	5	枯草 (生えたまま枯れたもの)	2
たき火	1	過熱する	1		
煙突	1	高温物が触れる	1		
排気管	1	火源が転落落下する	1		
煙火	1	可燃物が火源の上に 転落落下する	1		
石油・ガソリン ストーブ(開放式)	1	火の粉が散る遠くへ飛火する	1		
炎上家屋の火の粉	1				

(4) 時間別、曜日別、覚知別発生状況

(令和3年中)(単位:件)

(イ) 時間別

区分 時間別	火災種別件数				
	総数	建物	林野	車両	その他
総数	17	7	3	0	7
0 ~ 1	0	0	0	0	0
1 ~ 2	0	0	0	0	0
2 ~ 3	0	0	0	0	0
3 ~ 4	1	1	0	0	0
4 ~ 5	0	0	0	0	0
5 ~ 6	1	1	0	0	0
6 ~ 7	0	0	0	0	0
7 ~ 8	0	0	0	0	0
8 ~ 9	0	0	0	0	0
9 ~ 10	1	0	0	0	1
10 ~ 11	0	0	0	0	0
11 ~ 12	1	0	0	0	1
12 ~ 13	3	1	1	0	1
13 ~ 14	3	2	0	0	1
14 ~ 15	2	0	1	0	1
15 ~ 16	4	1	1	0	2
16 ~ 17	1	1	0	0	0
17 ~ 18	0	0	0	0	0
18 ~ 19	0	0	0	0	0
19 ~ 20	0	0	0	0	0
20 ~ 21	0	0	0	0	0
21 ~ 22	0	0	0	0	0
22 ~ 23	0	0	0	0	0
23 ~ 24	0	0	0	0	0

(ロ) 曜日別

区分 曜日	火災種別件数				
	総数	建物	林野	車両	その他
総数	17	7	3	0	7
日	5	1	1	0	3
月	2	0	1	0	1
火	1	0	0	0	1
水	4	3	0	0	1
木	2	1	0	0	1
金	2	1	1	0	0
土	1	1	0	0	0

(ハ) 覚知別

区分 覚知別	火災種別件数				
	総数	建物	林野	車両	その他
総数	17	7	3	0	7
火災専用電話	16	7	3	0	6
加入電話	0	0	0	0	0
警察電話	0	0	0	0	0
駆け付け通報	0	0	0	0	0
事後聞知	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0

## 7 月別火災出動及び使用機器状況

(令和3年中)

区分 月	火災 件数 (件)	出動 回数 (回)	出動 人員 (人)	使用機器		使用 ホース (本)
				自 動 車 (台)	小ポ 型 ン 動 カブ (台)	
総数	17	17	289	40	0	226
1月	1	1	11	3	0	20
2月	3	3	49	7	0	42
3月	3	3	50	5	0	22
4月	2	2	38	7	0	64
5月	2	2	41	3	0	13
6月	2	2	40	7	0	38
7月	1	1	26	5	0	22
8月	1	1	18	2	0	5
9月	1	1	16	1	0	0
10月	1	1	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0

8 主な火災の記録

年別	出火日時		用途	出火場所	出火原因	焼損面積等	損害額(千円)	死者	傷者
	月日	時分							
平成25	1月17日	0:30	住宅	新見市新見	不明	336	6,017	1名行方不明	
	2月8日	11:45	作業場	新見市足見	ストーブ	150	2,238	0	1
	3月6日	5:15	住宅	新見市哲多町田淵	風呂かまど	176	2,675	0	0
	3月6日	14:40	原野	新見市哲西町大野部	たき火	143	0	0	0
	4月5日	0:48	共同住宅	新見市正田	不明	53	8,095	0	2
	4月16日	12:40	原野	新見市哲多町蚊家	その他	328	0	0	0
	11月29日	0:20	住宅	新見市西方	放火	125	2,515	0	0
26	1月20日	9:45	住宅	新見市哲多町蚊家	ストーブ	140	2,512	0	1
	3月4日	0:00	宿泊業	新見市菅生	不明	93	15,803	0	0
	11月22日	2:16	住宅	新見市高尾	不明	449	11,364	0	0
27	5月25日	23:27	共同住宅	新見市西方	不明	560	7,119	0	0
28	該当火災なし								
29	4月28日	11:28	特殊車両	新見市下熊谷	不明	0	10,196	0	0
	5月17日	10:31	住宅	新見市哲多町花木	不明	132	2,940	0	0
	12月18日	6:54	納屋	新見市大佐大井野	不明	514	6,040	0	0
30	3月23日	12:46	住宅	新見市神郷高瀬	不明	293	5,125	1	0
	3月26日	17:43	倉庫	新見市新見	その他	70	11,585	0	1
	4月26日	19:40	住宅	新見市新見	不明	154	4,599	0	2
	6月11日	16:43	住宅	新見市哲多町荻尾	かまど	382	5,531	0	0
令和元	5月4日	14:10	倉庫	新見市神郷高瀬	不明	123	1,387	0	0
	5月6日	12:41	住宅	新見市神郷油野	直接雷	145	2,129	0	0
2	1月12日	1:51	作業場	新見市大佐田治部	不明	341	3,537	0	0
	7月26日	14:50	置場	新見市神郷高瀬	不明	723	6,692	0	0
	12月1日	18:59	住宅	新見市新見	ストーブ	235	12,679	0	1
3	4月7日	15:58	倉庫	新見市豊永赤馬	たき火	177	1,474	0	0
	6月9日	13:35	納屋	新見市坂本	不明	219	2,228	0	0
	7月21日	16:31	住宅	新見市千屋花見	煙突・煙道	165	2,449	0	1

※本表は、建物で焼損面積100平方メートル以上、又は損害額501万円以上、林野で51アール以上の火災を記録した。

9 救急業務

(1) 救急出場状況

(単位:件、人)

区 分	総 数		火 災		自然災害		水 難		交通事故		労働災害		
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	
平成29年	1,574	1,514	2	2	0	0	0	0	87	91	14	14	
平成30年	1,739	1,632	17	3	2	1	0	0	83	73	18	17	
令和元年	1,671	1,588	8	2	0	0	1	0	85	78	25	22	
令和2年	1,533	1,440	14	2	0	0	0	0	74	65	23	22	
令和3年	1,523	1,444	15	2	0	0	0	0	67	56	13	13	
月 別	1月	149	137	1	0	0	0	0	0	6	4	1	1
	2月	117	109	3	0	0	0	0	0	9	9	0	0
	3月	115	108	2	0	0	0	0	0	5	5	0	0
	4月	116	111	1	0	0	0	0	0	6	6	0	0
	5月	110	101	2	0	0	0	0	0	6	4	1	1
	6月	99	96	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7月	123	117	1	1	0	0	0	0	7	4	2	2
	8月	142	136	1	0	0	0	0	0	2	2	2	2
	9月	135	129	1	0	0	0	0	0	6	5	0	0
	10月	109	106	1	1	0	0	0	0	5	5	1	1
	11月	142	136	0	0	0	0	0	0	9	6	2	2
	12月	166	158	0	0	0	0	0	0	6	6	4	4
署 所 別	本 署	949	914	0	0	0	0	0	0	49	43	7	7
	大佐分署	178	161	7	1	0	0	0	0	3	1	3	3
	神郷分署	95	90	1	0	0	0	0	0	4	4	1	1
	哲多分署	162	150	4	0	0	0	0	0	8	5	2	2
	哲西分署	139	129	3	1	0	0	0	0	3	3	0	0

(単位:件、人)

区 分	運動競技		一般負傷		加害事故		自損行為		急 病		その他		
	出場件数	搬送人員											
平成29年	7	7	248	238	3	3	6	3	852	801	355	355	
平成30年	7	7	228	215	2	1	9	3	976	916	397	396	
令和元年	5	5	253	243	2	2	6	3	932	882	354	351	
令和2年	8	9	257	244	0	0	8	5	811	763	338	330	
令和3年	14	14	229	224	2	2	7	4	892	848	284	281	
月 別	1月	2	2	17	14	0	0	1	0	94	89	27	27
	2月	0	0	15	15	0	0	0	0	67	63	23	22
	3月	0	0	18	18	1	1	1	1	70	65	18	18
	4月	0	0	16	16	0	0	1	0	72	69	20	20
	5月	0	0	18	18	0	0	0	0	59	54	24	24
	6月	1	1	13	13	0	0	0	0	57	56	26	26
	7月	2	2	15	15	0	0	0	0	71	68	25	25
	8月	4	4	22	21	1	1	0	0	89	85	21	21
	9月	1	1	26	25	0	0	1	0	75	73	25	25
	10月	1	1	22	22	0	0	0	0	56	54	23	22
	11月	1	1	22	22	0	0	2	2	77	75	29	28
	12月	2	2	25	25	0	0	1	1	105	97	23	23
署 所 別	本 署	9	9	124	122	2	2	3	1	526	503	229	227
	大佐分署	0	0	35	33	0	0	1	1	119	113	10	9
	神郷分署	3	3	22	22	0	0	0	0	58	54	6	6
	哲多分署	2	2	26	26	0	0	1	1	92	87	27	27
	哲西分署	0	0	22	21	0	0	2	1	97	91	12	12



(4) 曜日別出場件数

(令和3年中)(単位:件)

事故種別 曜日	総数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
総数	1,523	15	0	0	67	13	14	229	2	7	892	284
日曜	204	4	0	0	7	2	0	29	1	2	137	22
月曜	246	3	0	0	10	6	0	34	0	1	145	47
火曜	254	1	0	0	7	1	1	43	0	1	145	55
水曜	201	3	0	0	8	1	2	23	0	0	120	44
木曜	214	2	0	0	11	1	4	30	1	1	119	45
金曜	203	2	0	0	8	1	1	36	0	1	112	42
土曜	201	0	0	0	16	1	6	34	0	1	114	29

(5) 現場到着所要時間(不搬送を除く)

(令和3年中)(単位:件)

所要時間 事故種別	総数	3分未満	3分 5分	5分 10分	10分 20分	20分 以上	最短 (分)	最長 (分)	平均 (分)	医師要請 件数
総数	1,523	10	67	770	495	175	1	47	10.7	1
急病	891	9	45	391	330	110	1	38	11.1	0
交通事故	67	0	0	28	24	15	5	43	13.9	0
一般負傷	230	0	13	109	83	25	3	30	9.8	1
上記以外	335	1	9	242	58	25	2	47	10.9	0

(6) 收容所要時間別搬送人員

(令和3年中)(単位:人)

所要時間 事故種別	総数	10分未満	10~20分	20~30分	30~60分	60~120分	120分以上	最短	最長	平均							
	管外	管外	管外	管外	管外	管外	管外	(分)	(分)	(分)							
総数	1,444	411	0	0	16	0	218	0	761	86	433	309	16	16	15	197	52.8
急病	847	118	0	0	14	0	154	0	526	51	142	56	11	11	15	165	46.2
交通事故	56	14	0	0	1	0	5	0	33	3	16	10	1	1	19	140	51.3
一般負傷	225	24	0	0	0	0	34	0	151	10	37	11	3	3	20	159	46.7
上記以外	316	255	0	0	1	0	25	0	51	22	238	232	1	1	19	197	75.2

## (7) 救急覚知別出場状況

(令和3年中)(単位:件)

覚知別	総数	自己覚知	消防専用電話	加入電話	駆け付け通報	その他
出場件数	1,523	2	1,322	169	22	8

## (8) 発生場所別搬送状況

(令和3年中)(単位:人)

区分	総数	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他
総数	1,444	756	533	26	88	41
急病	848	604	196	13	20	15
交通	56	0	2	0	52	2
一般負傷	224	145	40	1	15	23
上記以外	316	7	295	12	1	1

## (9) 年齢区分別搬送状況

(令和3年中)(単位:人)

年齢区分	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	老人
		生後28日未満	生後28日以上 7歳未満	7歳以上 18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上
搬送人数	1,444	1	32	42	279	1,090
割合	100.0%	0.1%	2.2%	2.9%	19.3%	75.5%

## (10) 時間別出場状況

(令和3年中)(単位:件)

時間	件数	時間	件数	時間	件数
0時～2時	38	8時～10時	224	16時～18時	166
2時～4時	38	10時～12時	221	18時～20時	133
4時～6時	42	12時～14時	196	20時～22時	109
6時～8時	98	14時～16時	187	22時～24時	71
<b>総数</b>					<b>1,523</b>

## (11) 中国自動車道における救急活動

(令和3年中)(単位:人)

区 分	出場件数	搬送件数	負傷程度別搬送人員(人)					計
			死亡	重症	中等症	軽症	その他	
総数	6	2	0	0	1	1	0	2
急病	0	0	0	0	0	0	0	0
交通	6	2	0	0	1	1	0	2
一般負傷	0	0	0	0	0	0	0	0
上記以外	0	0	0	0	0	0	0	0

## (12) 事故種別年齢区分別搬送人員

(令和3年中)(単位:人)

事故種 年齢区	総数	火災 事故	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
総数	1,444	2	0	0	56	13	14	224	2	4	848	281
新生児	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
乳幼児	32	0	0	0	0	0	0	7	0	0	22	3
少年	42	0	0	0	2	0	10	7	0	1	16	6
成人	279	1	0	0	30	12	1	27	1	3	147	57
老人	1,090	1	0	0	24	1	3	183	1	0	663	214

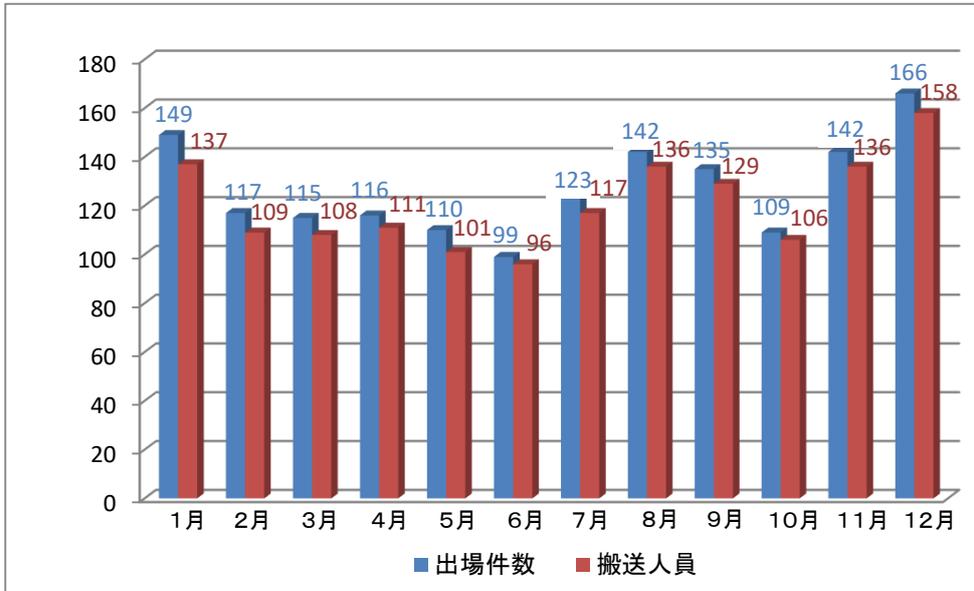
## (13) 傷病程度別年齢区分別搬送人員

(令和3年中)(単位:人)

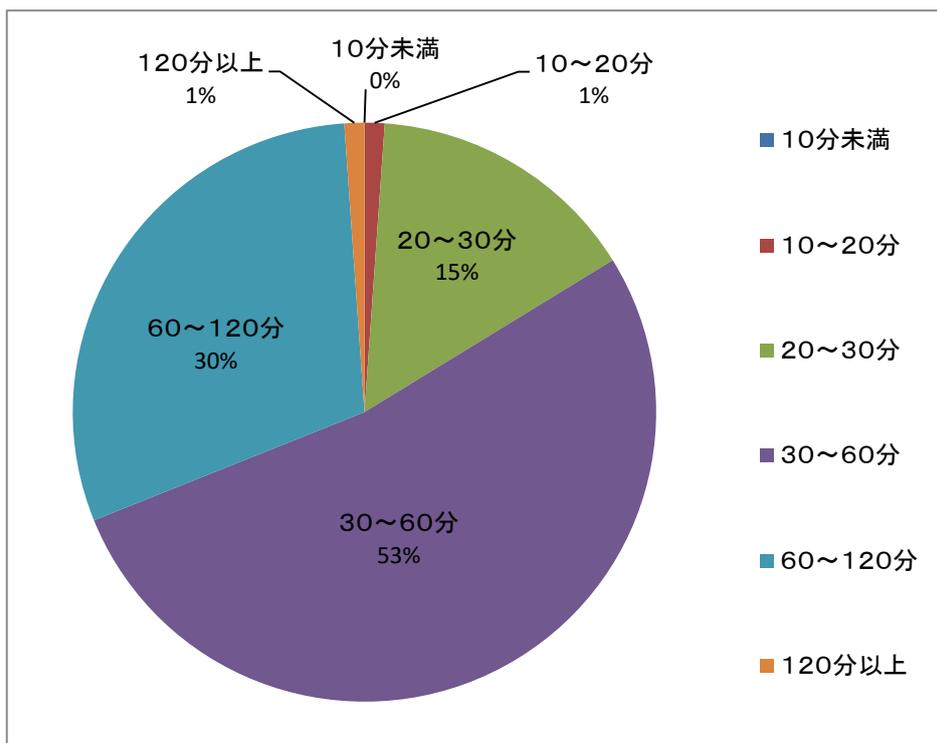
傷病程度 年齢区	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	
総数	1,444	1	32	42	279	1,090	※新生児…生後28日未満 ※乳幼児…生後28日以上、満7歳未満 ※少年…満7歳以上、満18才未満 ※成人…満18歳以上、満65歳未満 ※老人…満65歳以上
死亡	35	0	0	0	2	33	※死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの
重症	223	0	1	0	26	196	※重症とは、傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
中等症	835	1	10	9	140	675	※中等症とは、傷病の程度が重症及び軽症以外のもの。
軽症	350	0	21	33	110	186	※軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
その他	1	0	0	0	1	0	

## 10 グラフで見る救急業務

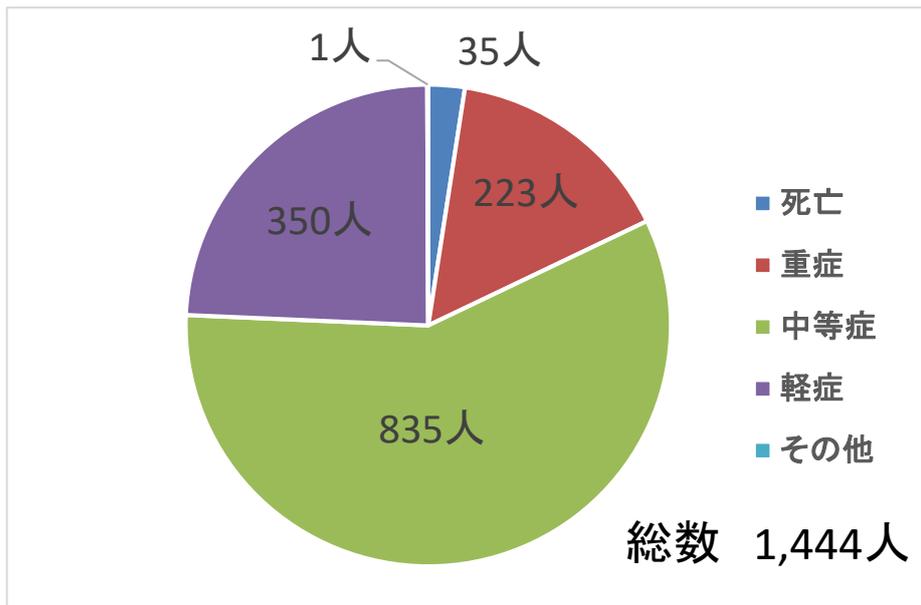
### (1) 月別出場件数・搬送人員



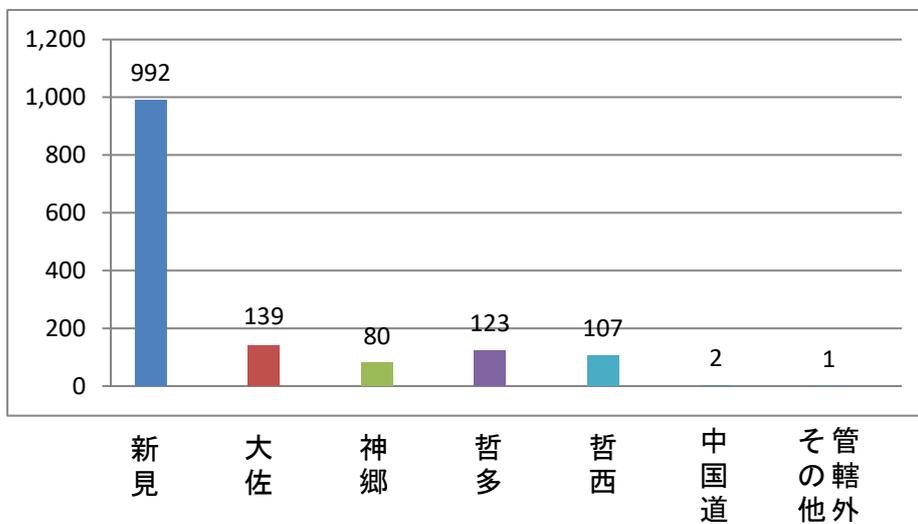
### (2) 医療機関等への収容時間別搬送人員



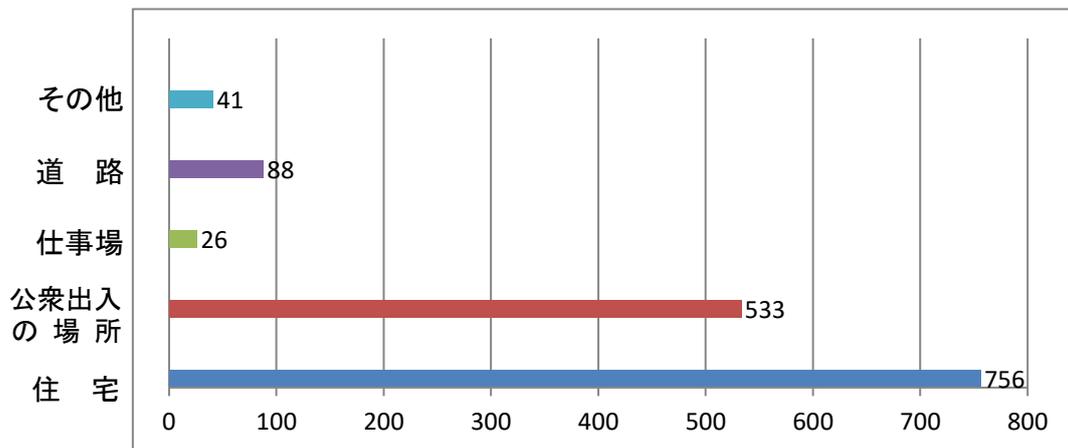
(3) 傷病程度別搬送人員



(4) 出場場所地区別搬送人員



(5) 事故発生場所別搬送人員



11 年別救助活動状況

(単位:件、人)

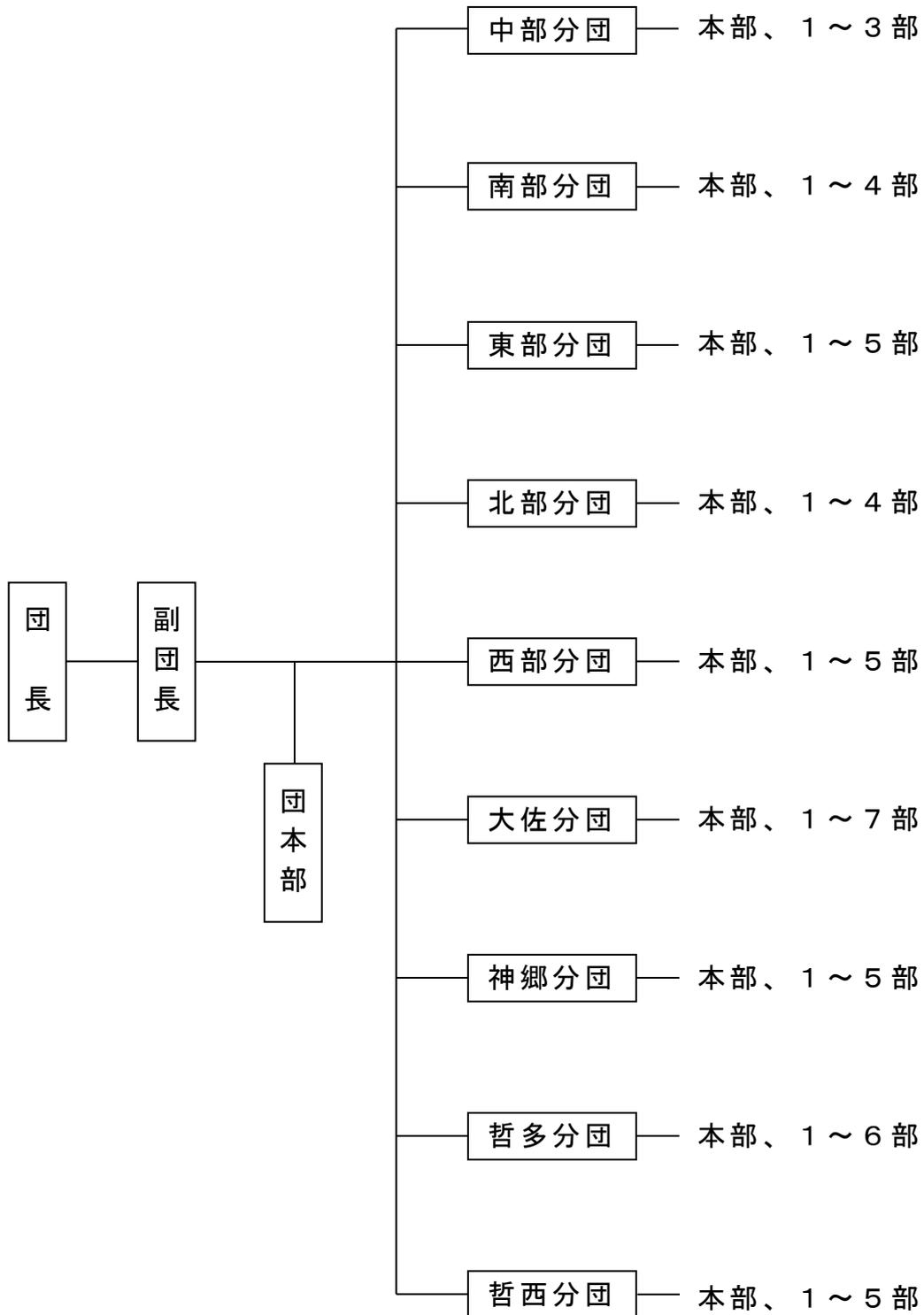
年 別	事故種別	総 数	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害
			建 物	建物以外			
平成 29年	出動件数	19	0	0	15	0	0
	活動件数	10	0	0	6	0	0
	救助人員	12	0	0	8	0	0
30年	出動件数	29	0	0	21	0	0
	活動件数	12	0	0	10	0	0
	救助人員	15	0	0	13	0	0
令和 元年	出動件数	33	0	0	23	1	0
	活動件数	15	0	0	7	0	0
	救助人員	20	0	0	12	0	0
2年	出動件数	23	0	0	12	1	0
	活動件数	17	0	0	8	0	0
	救助人員	17	0	0	8	0	0
3年	出動件数	13	0	0	10	0	0
	活動件数	7	0	0	5	0	0
	救助人員	7	0	0	5	0	0

年 別	事故種別	機械による 事 故	建物等による 事 故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故
平成 29年	出動件数	1	0	0	0	3
	活動件数	1	0	0	0	3
	救助人員	1	0	0	0	3
30年	出動件数	2	0	0	0	6
	活動件数	1	0	0	0	1
	救助人員	1	0	0	0	1
令和 元年	出動件数	1	0	0	0	8
	活動件数	0	0	0	0	8
	救助人員	0	0	0	0	8
2年	出動件数	3	1	0	0	7
	活動件数	3	1	0	0	5
	救助人員	3	1	0	0	5
3年	出動件数	0	0	0	0	3
	活動件数	0	0	0	0	2
	救助人員	0	0	0	0	2

消 防 団

# 消 防 団 関 係

## 1 消防団組織図



2 各消防団組織・団員数・消防ポンプ車等現有数・消防水利の現況

(令和4年4月1日現在)

消 防 団 数		1	
消 防 分 団 数		9	
団 員 数	定 員 (人)	1,200	
	実 員 (人)	1,031 (機能別団員含む)	
普通消防ポンプ 自 動 車 (台)		5	
小型動力ポンプ付 積 載 車 (台)		65	
小 型 動 力 ポ ン プ (台)		11	
消 防 水 利	消 火 栓 (公 設) (基)		2,143
	防 火 水 槽	40 m <sup>3</sup> 以上(基)	179
		20 m <sup>3</sup> ~ 39 m <sup>3</sup> (基)	68
	そ の 他 の 水 利		105

3 消防団の人員状況

(令和4年4月1日現在)(単位:人)

階級等	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長 (副部長)	班長	団員
団員数	1,031 (84)	1	3	18	69	88	182 (2)	670 (82)

※条例定数は1,200人

機能別団員含む、( )内は女性団員

4 消防団報酬

(1) 年報酬

(単位:円)

階級	報酬額
団長	129,000
副団長	79,000
分団長	69,000
副分団長	48,000
部長	40,000
班長	37,000
団員	36,500

※機能別団員は12,000円

(2) 出動報酬と費用弁償

① 出動報酬

(単位:円)

種別	出動報酬(日)	備考
災害	8,000	7時間45分未満は、 1,000円/時間
訓練・警戒	2,000	

② 費用弁償

(単位:円)

種別	費用弁償(日)
災害	1,000
訓練・警戒	1,000
その他(会議等)	1,000

## 5 消防団員の構成

### (1) 消防団員の年齢別構成 (単位：人)

年 齢 区 分	構 成 人 数
団 員 数	1,031 (84)
20 歳 未 満	14 (14)
20 歳 ~ 23 歳	26 (13)
24 歳 ~ 27 歳	48 (3)
28 歳 ~ 31 歳	84 (2)
32 歳 ~ 35 歳	96 (3)
36 歳 ~ 39 歳	126 (5)
40 歳 ~ 43 歳	108 (6)
44 歳 ~ 47 歳	137 (3)
48 歳 ~ 51 歳	127 (5)
52 歳 以 上	265 (30)

機能別団員含む、( ) 内は女性団員

### (2) 消防団員の在職年数別構成 (単位：人)

在 職 年 数	構 成 人 数
計	1,031 (84)
5 年 未 満	179 (37)
5 年 ~ 10 年	170 (17)
10 年 ~ 15 年	186 (25)
15 年 ~ 20 年	132 (2)
20 年 ~ 25 年	130
25 年 ~ 30 年	134 (3)
30 年 以 上	100

機能別団員含む、( ) 内は女性団員